

令和5（2023）年度

教育の質を保証するためのアセスメント

東京未来大学

本学では、アセスメントプランを踏まえて教育の質について評価を実施している。

・アセスメントプラン

【No. 1】

1. ディプロマ・ポリシー

<指標> ・公開 ▲一部公開 ●非公開

- ▲在籍者推移表 【No. 2-1~2-1-1】
- ▲【卒業年度基準】【標準年限】卒業生数・就職者数推移表 【No.2-2~2-3】
 - ・「ディプロマ・ポリシー調査」 【No. 3-1~3-5】
- ▲【通学・通信】入学年度別進級者数・標準年限卒業生数推移表 【No. 4-1~4-2-1】
- ▲【通学・通信】【標準年限】卒業生の専攻・学科別 GPA 分布推移表 【No. 5-1~5-2-1】
 - ・【通学・通信】【標準年限】卒業生の資格・免許状取得状況 【No. 6-1~6-5】
- 【通信】【標準年限・入学年度基準・卒業年度基準】資格・免許状取得状況【6-4-1~6-9-1】
 - ・卒業時アンケート（学生生活実態調査・卒業時アンケートから） 【No. 7-1~7-2】
 - ・【集約版】【標準年限卒業生】就職先の実績推移 【No. 8-1】
 - 【詳細版】【標準年限卒業生】就職先の実績推移 【No. 8-2】
 - 【標準年限】卒業後の進路状況 【No. 8-3】
 - 【卒業年度基準】卒業後の進路状況 【No. 8-4】
 - ・身につけるべき学士力調査 【No. 9-1】
 - ・2023 年度学生生活実態調査 ・卒業時アンケート結果報告 【No. 18】
 - 学外者の意見聴取(外部評価員会議報告) 【No. 20】
 - 【通信教育課程】過年度卒業生アンケート調査結果 【No. 21-1】
 - 【通学課程】就職先アンケート、過年度卒業生アンケート集計結果 【No. 21-2】

<評価結果> (DP に定める資質、能力を身につけたか)

[通学全体]

令和5(2023)年度のディプロマ・ポリシーの達成度は、各専攻学科とも、全項目で、平成4(2022)年度より数ポイント程度上昇しているが、令和3(2021)年度よりは低い。昨年度大きく低下したモチベーション行動科学科の「組織を動かす力」は、12.3ポイント回復したもの、依然、令和3年度よりは7.3ポイント低い。資格・免許状取得状況では、こども保育・教育専攻の保育士・幼稚園・小学校教諭免許取得率は増加傾向にあり、モチベーション行動科学部の中高教員免許取得率は大きく増加している。

身につけるべき学士力の汎用スキルでは、「文化・社会と自然に関する知識を理解できる」「情報を構造化し、分析・評価・統合し、倫理的に活用できる」「情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる」「既存の知識を活用して、新しい価値(アイ

デア、生産物、方法等)を生みだせる」「自分の意見をわかりやすく伝えることができる」など、知識の理解、分析、活用といった側面の達成度が低く、他方、「意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。」「相手の意見を丁寧に聞くことができる。」「他者と協調して行動できる」「自分と周囲の人々や物事の関係性を理解できる。」「自己の良心及び法規範・社会のルールに従って行動できる。」といった社会性や協調性の側面の達成度は高い傾向にある。大学で身につけた力を問う卒業時アンケートにおいても、コミュニケーションの力、協働する力である「社会性」が高く、情報収集－分析－解釈－表現・発信する力である「問題解決力」や創造し表現する力である「創造力」が低いという同様の傾向が見られる。

標準年限卒業率、及び授業満足度は上昇傾向にあり、未来際等満足度低下傾向にある。GPA 分布は大学全体では大きな変化はないが、専攻、学科ごとに変動が見られる。週当たり学習時間(卒業時調査)には、大きな変化はない。業種別就職状況では、「学校教育・その他の教育」が増加傾向にある。

以上各指標から、ディプロマ・ポリシーを検討すると、『人間性豊かな心』は、身につけるべき学士力の汎用性スキル、卒業時アンケートの社会性や協調性の結果から修得されていることが示唆されるが、他方、『高い専門的知識・技能』に関しては、保育士・幼稚園・小学校教諭免許取得率、中高教員免許取得率の増加から、昨年度より改善しているが、身につけるべき学士力の汎用性スキル、卒業時アンケートの知識の理解、問題解決力が低いことから達成度は十分ではないことが示唆される。また、『自ら考え、行動する』についても、身につけるべき学士力の汎用性スキル、卒業時アンケートの「創造力」が低いことから、修得度は十分ではないことが示唆される。

[心理専攻]

標準年限卒業率は凸凹あるものの、3年次の進級率は令和2(2020)年度96.2%が最も高く、その後右肩下がりとなっているが80%台後半で推移している。卒業生のGPA 分布については、令和元(2019)年度は前年度と比較して、3.51-4.00の構成比率が半分以下になっており、成績のへ平準化が順調に実施されていると考えられる。一方、1.51-2.00の構成比率も半分以下になっており、学生の学習の成果であり勤勉性が現れている結果ともいえ評価に値するであろう。卒業生の資格・免許修得状況に関しては、認定心理士の取得者数は令和元(2019)年度に続いて50人台となったが、取得率は50%を下回ってしまった。

心理専攻のディプロマ・ポリシーの達成度に関しては、4項目全てにおいて、「思う(4)以上」が増加している。「専門的知識・技能の習得」「実践的技能の習得」が5%以上の効果がみられ、「教養的知識・技能の習得」「学士力を修得している」についても数%程度の効果がみられている。これらの結果については、前年度に引き続き、対

面授業や行事がさらに充実してきたことの現れとも言えよう。

[こども保育・教育専攻]

令和5(2023)年度における標準年限卒業率(2020年度入学生の卒業率)が92%となり5年前の水準に回復した。年度により5%(2~3名)程度の増減はあるものの、標準年限卒業率は、ほぼ一定していると見ることができる。

子ども保育・教育専攻のディプロマ・ポリシーは、教育・保育・福祉における職能の育成について謳っている。したがって、当専攻における免許・資格の取得状況が、ディプロマ・ポリシーの達成度を判断する重要な指標であるといえる。令和5(2023)年度卒業生の資格・免許取得状況は、小学校教諭および幼稚園教諭免許取得者の数が、前年比5%(11名)増となったことを筆頭に、全体として向上しており、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の免許・資格の取得率は、92.5%に達し、令和4(2022)年度より前の水準に回復したことが確認できる。

当専攻の卒業生は、例年、上記の免許・資格を活用できる就職をしているが、令和5(2023)年度卒業生にあっては、小学校等の学校への就職者数が、例年の2倍程度の数となっている。そのため、就職先の構成比率において、学校関係が増加、医療福祉が低下したように見えるものの、小学校、幼稚園、子ども園、保育所、福祉施設などへの就職が85%以上を占める状況については、例年と比して大きな差はないといえる。

ディプロマ・ポリシーの達成度は、令和4(2022)年度を底として、令和5(2023)年度においては若干の持ち直しの兆しが見られるものの、「教養」に関する不足感については一貫しており、対策が必要と考えられる。

[モチベーション行動科学部]

令和5(2023)年度のモチベーション行動科学部の標準年限卒業生における就職実績では、卒業生数を分母とする就職率は97.1%であったものの、就職希望者を分母とする就職率は昨年に引続き100%を達成した。過去数年の実績と比較をすると大きく向上しており、局部的ではあるが、ディプロマ・ポリシーの達成に貢献していると言える。

ディプロマ・ポリシーの達成度評価では「他者と関わる力が身についた」の項目が83.4%と最も高く、学士力の専門スキルにおいても「他者を肯定的に理解することができる」の項目において7割以上が獲得できていると評価しており、客観的な視点で他者を理解する力を獲得している点において評価できる。

[通信]

ディプロマ・ポリシー各項目の達成度は、こども心理学部では全項目において低下

傾向、モチベーション行動科学部でも1項目を除いて低下傾向にある。標準年限卒業率、GPA 分布には大きな変化は認められない。資格・免許状取得状況については、こども心理学部では、教員免許状取得率が1年次入学、3年次編入学とも、減少が認められた前年度から横ばいである一方、3年次編入学の認定心理士資格取得率は増加傾向にある。他方、モチベーション行動科学部では、1年次入学での認定心理士取得率が増加傾向にある。

以上より、こども心理学部、モチベーション行動学部ともにディプロマ・ポリシー項目の達成度が低下していること、またこども心理学部における『高い専門的知識・技能』の指標である教員免許状取得率が低迷していることは検討を要する。

2. カリキュラム・ポリシー

<指標>

- ・「カリキュラム・ポリシー調査」 【No. 10-1～10-5】
- 【通学・通信】休学者数・留年者数・退学者数推移表 【No. 11-1～11-2】
- 【通学・通信】修得単位数(平均)・GPA(平均)推移表 【No. 11-3】
- ▲【通学・通信】入学年度別進級者数・標準年限卒業生数推移表 【No. 4-1～4-2-1】
- ・【通学課程】授業評価アンケート 【No. 12-1～12-3】
- ・【通信教育課程】授業評価アンケート 【No. 12-4】
- 2024年度GPS-Academic 【No. 17】

<評価結果>(CPに沿った学修がすすめられているか)

[通学全体]

カリキュラム・ポリシーの達成度は、すべての専攻、学科で昨年度より上昇し、改善が見られる。休学者数・留年者数・退学者数及び各比率は低下傾向にある。修得単位数、GPA はほぼ昨年度と同様である。授業評価は、各カテゴリーとも極めて肯定的である。

カリキュラム・ポリシー調査結果、及び、良好な授業評価から、本学カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程及び授業は適切に運営され、機能していると考えられる。

[心理専攻]

カリキュラム・ポリシーの達成度を概観すると、「思う(4)」以上の割合が5%以上改善している項目は、「体系的・実践的な知識・技能」、「学問研究を深める(3年生以上)」、「学士力が身につけている」の3項目である。いずれも学業に関する中核的な性質に関するものであり、大きな教育的効果があったと言える。一方、「人間関係を

深める」「講義、演習、実習の受講」に関しては5%には及ばずとも4%を超えた改善がみられ、教育的効果があったことが示されたと言える。

[こども保育・教育専攻]

令和4(2022)年度入学生の3年次進級率については、2022年度入学生においてやや下振れ傾向が見られるため、この学年の標準年限卒業率は従前に比して低下することが予測される。

令和5(2023)年度のカリキュラム・ポリシーの達成度は、令和5(2022)年度比してやや回復したものの、令和4(2022)年度以降は、令和3(2021)年度に比べると10%ポイント低下したまま推移している(そう思う=4以上の割合)。特に、学問研究を深める(3年生)の得点が回復しない状況が続いていることから、こども保育・教育専攻所属学生個々の大学における学修意欲、目的等との不一致などが生じていないか、確認が必要であると同時に、大学における学修目標ならびに本学の掲げる理念等についての周知について、さらに工夫、徹底する必要があるものと考えられる。

これらのことについて、カリキュラム・ポリシーとそれに基づく教育課程編成、教育内容、学修のあり方の問題であるのか、あるいは、特に令和4(2022)年度入学生の平均的基礎学力等を要因として、カリキュラム・ポリシーとそれに基づく教育内容が、学生の学修成果として実感を得られないことを一定程度反映しているのか、詳細に検討した上で、学生個々の状況に応じた学修支援などが必要であると考えられる。

[モチベーション行動科学部]

モチベーション行動科学部では、カリキュラム・ポリシーの達成度において、特に「モチベーション行動科学の基礎」が学べる点に対して84.4%が肯定的評価をしている。しかし、その一方で専門性を深める「基礎演習、専門演習、卒業研究」については、否定的評価をしている割合が20.6%と5分の1を超えており、今後の改善を要する。

[通信]

カリキュラム・ポリシーの達成度は、こども心理学部、モチベーション行動科学部ともに、やや低下傾向である。休学者数、退学者数、修得単位数、GPAはほぼ昨年度と同様である。授業評価は各カテゴリーとも昨年度とほぼ同様であり、概して肯定的である。良好な授業評価、カリキュラム・ポリシーの達成度評価から、本学カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程及び授業は適切に運営され、有効に機能していると考えられる。

3. アドミッション・ポリシー

<指標>

・志願者数・受験者数・合格者数・入学者数推移表(T合格含む) 【No. 13】

・「アドミッション・ポリシー調査」 【No14-1～14-5】

●IRセンター2023年度報告書 【No. 16】

・入学前教育(ゼミ参加率・ラインズドリル提出率) 【No. 19】

<評価結果>(APを満たす人材が入学しているか)

[通学全体]

令和5(2023)年度の志願者数、受験者数は、心理専攻、保育・教育専攻で減少したものの、モチベーション行動科学科で増加している。各入試種別の入学者構成比率は総合型選抜、一般選抜が増加し、学校推薦型が減少している。総合選抜と学校推薦型選抜を合わせた入学者数が全体の8割を占めている。アドミッション・ポリシーの達成度は、全専攻学科で1～15ポイント上昇し、改善が見られる。新入生アンケートによると、「意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる」、「相手の意見を丁寧に聞くことができる」、「他者と協調して行動できる」といった社会性、協調性の側面は優れているが、「目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる」、「よりよい社会を実現するために、自らの資質を活かして積極的に社会に関与できる」、「自らを律して行動できる」といった積極性、自律性の側面は弱い傾向がある。

調査によるアドミッション・ポリシーの達成度は低くないものの、アドミッション・ポリシーの「意欲が高く」に対応すると想定される積極性、自律性が必ずしも高くない点は検討を要する。

[心理専攻]

アドミッション・ポリシーの達成度を概観すると、令和4(2022)年度と比較して、全ての項目において改善がみられた。特に「学力、知力、豊かな発想力」および「教育目標を理解」の2項目については、10%を超えた大きな効果がみられた。また、「論理的に理解する」「社会的貢献に関わる」についても5%を超えた効果がみられた。

「円滑なコミュニケーション」についてもわずかながら効果がみられたと言ってよいと考えられる。教育目標の理解については、昨年度課題として示されたため、入試前の教育目標の伝達に力を入れた。本年度はその成果が示されたといえよう。

[こども保育・教育専攻]

アドミッション・ポリシーの達成度は、令和5(2023)年度は前年度に比べると1～5ポイント上昇しているものの、志願者数の減少が顕著となった令和4(2022)年度以降は、令和3(2021)年度以前に比して、一貫して、5つの指標全てにおいて10～15%程度の

落ち込みを見せており、直近2カ年の結果では、特に、「(1)基礎学力を有している。」

「(4)積極的に行動できる。」「(6)教育目標を理解している。」の3項目については、20%以上が、そう思わないと回答している。このことから、入学前段階から、本学での学修の目標のみならず高等教育機関での学修について、広報の内容、専攻からの情報発信などを通し、求められる入学者像を明確に意識できるよう働きかけることが急務であると考えられる。そのための考慮・検討、改善が必要であるといえる。

[モチベーション行動科学部]

モチベーション行動科学部のアドミッション・ポリシーの達成度は、総じて7割以上が各項目を肯定的に評価しているが、昨年同様「高等学校の教育課程を幅広く修得している」という項目においては、68.3%と低くなっている。要因として考えられるのは、専門性のある課程の出身者であった場合や学生本人が自身の学びを幅広いかどうかを判断しにくいいため、回答しづらい質問内容であることも考えられる。今後質問項目について再検討する必要がある。一方で、全ての項目において昨年度より評価が上がっており、特に「困難や課題を乗り越えた経験をもっている」という項目においては80.4%と8割を超えており、達成度が向上していると評価できる。

[通信]

アドミッション・ポリシー各項目の達成度は、こども心理学部、モチベーション行動科学部ともにやや低下がみられるものの、高い水準を保っている。アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜、受け入れが実現していると考えられる。

4. 教育の目的

<指標>

・教育の目的調査

【No. 15-1～15-5】

<評価結果> (DP、CP、AP の評価を踏まえて、教育の目的は達成できているか)

[通学全体]

教育目的に掲げる『人間性豊かな心』については、新入生アンケートより「意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる」、「相手の意見を丁寧に聞くことができる」、「他者と協調して行動できる」といった社会性、協調性の側面の評価が高いこと、さらに、身につけるべき学士力の汎用スキルで「意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。」「相手の意見を丁寧に聞くことができる。」「他者と協調して行動できる」「自分と周囲の人々や物事の関係性を理解できる。」「自己の良心及び法

規範・社会のルールに従って行動できる。」といった社会性や協調性の側面の達成度は高い傾向にあることから、十分に達成できていると判断できる。

他方、『高度な専門知識・技能』は、各教員免許取得率が上昇しているものの、身につけるべき学士力の「文化・社会と自然に関する知識を理解できる」「情報を構造化し、分析・評価・統合し、倫理的に活用できる」「情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる」「既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる」「自分の意見をわかりやすく伝えることができる」など、知識の理解、分析、活用といった側面が弱く、さらに、卒業時アンケートでは、知識の理解、問題解決力が低いことから達成度は十分ではないことが示唆される。また、『自ら考え、行動する』についても、「目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる」、「よりよい社会を実現するために、自らの資質を活かして積極的に社会に関与できる」、「自らを律して行動できる」といった積極性、自律性の側面は弱い傾向があることから、達成は十分ではないことが示唆される。

[心理専攻]

教育目標について「思う(4)以上」の割合を集計したところ以下の傾向がみられた。

「心理学の基礎概念を修得」「専門的な知識が身についた」「キャリアに対する意欲を高めた」については5%を超えた改善がみられた。また、「高度な専門的技能が身に付いた」「役立つ教養を身につけた」についても数%程度の改善がみられた。「豊かな心を育んだ」についてはほんのわずかな上昇がみられたが、ほとんど変わらない傾向であった。前年度との比較については、以上のことが言えるが、「高度な専門的技能が身に付いた」については元々の値が高くなく、長期的に取り組むべき課題と言える。

[こども保育・教育専攻]

教育の目的の達成度は、令和4(2022)年度～令和5(2023)年度は、同様の傾向を示している。おおよそ適切であると評価されているものの、「(2)高度な専門的技能が身についた」「(5)キャリア教育を学べた」について「思わない(3)以下」と回答する者の割合が2年連続して20%を超えている。

上記3ポリシーの達成度評価を通して、専攻レベルにおける教育の目的は概ね達成できていると評価することができる。しかし、世間に流布される教育・保育分野における労働環境問題の情報などから、この分野で学ぼうとする学生が減少するという厳しい環境に晒されていることも一方の事実である。

このような状況の下で、入学前段階からの情報提供に加え、各学年の学修状況、学生個々の実態に応じた教育内容・方法の改善が必要になってきていると考えられる

[モチベーション行動科学部]

モチベーション行動科学部では、昨年度と比較して「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーションを理解できた」と「所属する集団や組織、地域、社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる力が身についた」の2項目において、達成度が大幅に回復している点が評価できる。コロナ禍から脱し、組織における集団活動、地域におけるボランティアや連携活動の制限が解かれたことにより、学生達の社会活動が活発化したことが功を奏していると考えられる。しかし、コロナ禍前の水準にはまだ到達していないため、来年度以降の更なる評価の回復を期待したい。

[通信]

教育目的の達成状況（適切性評価）は、こども心理学、モチベーション行動科学部とも、前年度からの低下がみられるが、概して良好である。一方、こども心理学部においては「高度な専門的知識・技能が身についた。」の達成度が、前年度に比べ約10ポイント低下しており、精査が必要である。

以上

東京未来大学のアセスメントプラン

[No.1]

※教育の質を保証するためにアセスメントプラン(評価の指標)に則り、三ポリシー(方針)に沿った学修成果となっていることを点検・評価をする

	APを満たす人材が入学しているか	CPに沿った学修が進められているか	DPIに定める資質・能力を身につけたか
全学	教育の目的・三ポリシー調査		
	入試種別ごとの受験者・合格者・入学者推移	教育課程編成の適切性に係る検証	
	入学前アンケート・新入生アンケート、2年生時アンケート、学士力アンケート、身につけるべき学士力調査(仮称) 学生成長実感アンケート)		
		進級率と標準年限卒業率(入学年度別 進級・卒業者の状況)	
		学生生活実態調査・卒業時アンケート	
		授業評価アンケート	学科・専攻別のGPA分布(卒業生の専攻・学科別GPA分布)
		退学・休学・留年推移	各種の免許、資格及び検定等の取得状況
			身につけるべき学士力調査
			就職の実績
			過年度卒業生アンケート
		就職先意見聴取	
		学外者の意見聴取 ①学修成果 ②三ポリシー	
学科・専攻 ・通信教育 課程レベル	入試種別ごとの受験者・合格者・入学者数推移	GPSアカデミック	身につけるべき学士力調査
	入学前アンケート・新入生アンケート、2年生時アンケート、学士力アンケート、身につけるべき学士力調査(仮称) 学生成長実感アンケート)		
	入学前教育の取組状況	GPA平均推移	学科・専攻別のGPA分布(卒業生の専攻・学科別GPA分布)
		退学・休学・留年推移	各種の免許、資格及び検定等の取得状況
		単位修得状況	就職の実績
		学修時間推移(学生生活実態調査)	
		授業評価アンケート	
	学生生活実態調査		
科目レベル	入学前教育の取組状況	成績評価	
		出欠状況	
		シラバス記載内容	
		授業評価アンケート	

在籍者数推移表(学年別)

[通学課程]

(単位:人数)

	入学 定員	収容 定員	令和4(2022)年度					令和5(2023)年度				
			1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
心理専攻	80	320	126	124	111	118	479	126	124	109	118	477
保・教	200	800	177	201	193	202	773	198	181	192	207	778
モチベ	60	240	70	76	70	74	290	74	73	67	75	289
合計	340	1360	373	401	374	394	1,542	398	378	368	400	1,544

	入学 定員	収容 定員	令和6(2024)年度					令和7(2025)年度				
			1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
心理専攻	80	320	138	130	104	110	482					0
保・教	200	800	201	204	165	197	767					0
モチベ	60	240	80	74	65	71	290					0
合計	340	1360	419	408	334	378	1,539	0	0	0	0	0

[通信教育課程]

	入学 定員	収容 定員	令和4(2022)年度					令和5(2023)年度				
			1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
こども	75						0					0
	(300)	900	109	134	443	400	1,086	135	130	521	438	1,224
モチベ	20						0					0
	(20)	120	32	30	71	63	196	45	36	77	67	225
合計			141	164	514	463	1,282	180	166	598	505	1,449

	入学 定員	収容 定員	令和6(2024)年度					令和7(2025)年度				
			1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
こども	75						0					0
	(300)	900	144	161	535	530	1,370					0
モチベ	20						0					0
	(20)	120	31	54	65	72	222					0
合計			175	215	600	602	1,592	0	0	0	0	0

【卒業年度基準】卒業生数・就職者数推移表

【通学課程】

(単位:人数)

	平成31・令和元(2019)年度					令和2(2020)年度					令和3(2021)年度				
	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②
心理専攻	84	70	68	81.0%	97.1%	94	80	80	85.1%	100.0%	106	98	98	92.5%	100.0%
保・教	185	172	166	89.7%	96.5%	182	172	172	94.5%	100.0%	176	168	163	94.2%	97.0%
モチベ	36	28	28	77.8%	100.0%	62	56	56	90.3%	100.0%	56	53	52	92.9%	98.1%
合計	305	270	262	85.9%	97.0%	338	308	308	91.1%	100.0%	338	319	313	92.6%	98.1%

※保・教卒業生176名-3名(大学院・外国学校進学者)で就職率①を算出している。

	令和4(2022)年度					令和5(2023)年度					令和6(2024)年度				
	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②
心理専攻	102	90	89	87.25%	98.9%	112	99	98	87.5%	99.0%					
保・教	184	178	178	96.7%	100.0%	193	186	186	96.4%	100.0%					
こども心理学部	286	268	267	95.4%	99.6%	305	285	284	93.1%	99.6%					
モチベ	64	60	60	95.2%	100.0%	70	67	67	95.7%	100.0%					
合計	350	328	327	93.4%	99.7%	375	352	351	93.6%	99.7%	0	0	0		

※こども心理学部、モチベの就職率①について
卒業生数286名-6名(大学院・外国学校進学者)で
就職率①を算出している。
卒業生64名-1名(大学院・外国学校進学者)で
就職率①を算出している。

就職率①:卒業生数に対する就職率、就職率②:就職希望者に対する就職率
※通信教育課程の学生の殆どは社会人のため、データなし。

心理専攻「ディプロマ・ポリシー調査」

ディプロマ・ポリシー(DP)

以下の要件を満たす人材を養成する。

- 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。
- 子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に関して、学士として十分な専門的知識・技能を修得している。
- 教育・保育・福祉領域などにおける心理職としての専門的な知識を有し、実践的な力を発揮することができる技能を修得している。
- 実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思 わない	全く 思 わ ない
(1) 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に関して、学士として十分な専門的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(3) 教育・保育・福祉領域などにおける心理職としての専門的な知識を有し、実践的な力を発揮することができる技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(4) 実社会で活躍できるような学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)教養的知識・技能の修得	4.28	88.2%	11.8%	4.10	75.3%	24.7%	4.29	79.6%	20.4%
(2)専門的知識・技能の修得	4.28	86.6%	13.4%	4.25	78.3%	21.7%	4.38	83.4%	16.6%
(3)実践的技能の修得	4.12	83.6%	16.4%	4.05	71.2%	28.8%	4.22	77.3%	22.7%
(4)学士力を修得している	4.42	91.2%	8.8%	4.32	81.3%	18.7%	4.46	84.3%	15.7%

こども保育・教育専攻「ディプロマ・ポリシー調査」

ディプロマ・ポリシー(DP)

以下の要件を満たす人材を養成する。

- 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。
- 子どもの心身の健全な発達についての高度な専門性を発揮できる職種である、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、福祉職種に向けた職能を修得するように努めている。
- 上記職種に限らず、家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもに関する専門的知識・技能を利活用できる就業力を修得している。
- 実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思 ない	全く 思 わ ない
(1) 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもの心身の健全な発達についての高度な専門性を発揮できる職種である、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、福祉職種に向けた職能を修得するように努めている。	6	5	4	3	2	1
(3) 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもに関する専門的知識・技能を利活用できる就業力を修得している。	6	5	4	3	2	1
(4) 実社会で活躍できるような学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)教養的知識・技能の修得	4.28	88.3%	11.7%	4.08	73.9%	26.1%	4.16	75.6%	24.4%
(2)専門的知識・技能の修得	4.62	92.5%	7.5%	4.54	84.6%	26.1%	4.61	84.5%	15.5%
(3)実践的技術の修得	4.52	92.3%	7.7%	4.28	80.6%	26.1%	4.44	84.1%	15.9%
(4)学士力を修得している	4.46	90.9%	9.1%	4.43	83.8%	26.1%	4.44	82.4%	17.6%

モチベーション行動科学部「ディプロマ・ポリシー調査」

ディプロマ・ポリシー(DP)

心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を修得し、社会に貢献しうる者に学位を授与する。学位の授与にあたっては最終学年で卒業研究の審査に合格し、卒業研究を含めた所定の単位を修得した者に「学士(行動科学)」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。

(1)個人をみつめる力を身につけること。

客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。

(2)他者と関わる力を身につけること。

他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。

(3)組織を動かす力を身につけること。

集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 個人をみつめる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者と関わる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 組織を動かす力が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
個人をみつめる力が身についた。	4.85	93.2%	6.8%	4.44	80.8%	19.2%	4.43	79.9%	20.1%
他者と関わる力が身についた。	4.76	91.4%	8.6%	4.70	85.6%	14.4%	4.55	83.4%	16.6%
組織を動かす力が身についた。	4.00	83.7%	16.3%	3.87	64.1%	35.9%	4.35	76.4%	23.6%

こども心理学部「ディプロマ・ポリシー調査」

ディプロマ・ポリシー(DP)

以下の要件を満たす人材を養成する。

- 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。
- 子どもに関する心理を中心に、学士として十分なこども心理学の専門的知識・技能を修得している。
- 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもの教育・保育・福祉側面とこども心理学に関する専門的知識・技能を修得している。
- 実社会で活躍できるような、本学の共通及び通信教育課程が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わ ない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもに関する心理を中心に、学士として十分なこども心理学の専門的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(3) 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもの教育・保育・福祉側面とこども心理学に関する専門的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(4) 実社会で活躍できるような学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1) 教養的知識・技能を修得	4.99	96.3%	3.7%	5.07	98.5%	1.5%	4.76	88.2%	11.8%
(2) 専門的知識・技能を修得	5.04	97.9%	2.1%	5.05	97.1%	2.9%	4.57	85.8%	14.2%
(3) こども心理学の知識・技能修得	4.78	92.6%	7.4%	4.79	94.2%	5.8%	4.54	85.0%	15.0%
(4) 学士力を修得	4.86	92.2%	7.8%	5.11	98.8%	1.2%	4.54	84.1%	15.9%

モチベーション行動科学部「ディプロマ・ポリシー調査」

ディプロマ・ポリシー(DP)

心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を修得し、社会に貢献しうる者に学位を授与する。学位の授与にあたっては最終学年で卒業研究の審査に合格し、卒業研究を含めた所定の単位を修得した者に「学士(行動科学)」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。

(1)個人をみつめる力を身につけること。

客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。

(2)他者と関わる力を身につけること。

他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。

(3)組織を動かす力を身につけること。

集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わ ない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 個人をみつめる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者と関わる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 組織を動かす力が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
個人をみつめる力が身についた。	5.38	97.9%	2.1%	5.15	95.8%	4.2%	4.78	84.4%	15.6%
他者と関わる力が身についた。	5.02	93.8%	6.3%	4.72	87.3%	12.7%	4.76	80.0%	20.0%
組織を動かす力が身についた。	4.73	91.7%	8.3%	4.55	83.1%	16.9%	4.53	82.2%	17.8%

【通学課程】

【No.4-1】

入学年度別進級者数・標準年限卒業者数推移表

(単位:人数、%)

学科・専攻	入学年度	入学者数	3年次進級		標準年限卒業	
			人数	進級率	卒業者	卒業率
心理専攻	平成28(2016)	103	84	81.6	77	74.8
	平成29(2017)	122	101	82.8	85	69.7
	平成30(2018)	124	111	89.5	99	79.8
	令和元(2019)	122	112	91.8	100	82.0
	令和2(2020)	117	111	94.9	104	88.9
	令和3(2021)	126	108	85.7	-	-
	令和4(2022)	126	102	81.0	-	-
こども 保育・ 教育専攻	平成28(2016)	203	191	94.1	183	90.1
	平成29(2017)	204	191	93.6	179	87.7
	平成30(2018)	200	182	91.0	171	85.5
	令和元(2019)	205	192	93.7	173	84.4
	令和2(2020)	201	195	97.0	186	92.5
	令和3(2021)	198	191	96.5	-	-
	令和4(2022)	179	162	90.5	-	-
こども 心理学部 合計	平成28(2016)	306	275	89.9	260	85.0
	平成29(2017)	326	292	89.6	264	81.0
	平成30(2018)	324	293	90.4	270	83.3
	令和元(2019)	327	304	93.0	273	83.5
	令和2(2020)	318	306	96.2	290	91.2
	令和3(2021)	324	299	92.3	-	-
	令和4(2022)	305	264	86.6	-	-
モチベー ション行動 科学部	平成28(2016)	60	38	63.3	32	53.3
	平成29(2017)	76	67	88.2	57	75.0
	平成30(2018)	73	62	84.9	52	71.2
	令和元(2019)	75	70	93.3	60	80.0
	令和2(2020)	76	69	90.8	68	89.5
	令和3(2021)	72	69	95.8	-	-
	令和4(2022)	71	62	87.3	-	-
合計	平成28(2016)	366	313	85.5	292	79.8
	平成29(2017)	402	359	89.3	321	79.9
	平成30(2018)	397	355	89.4	322	81.1
	令和元(2019)	402	374	93.0	333	82.8
	令和2(2020)	394	375	95.2	358	90.9
	令和3(2021)	396	368	92.9	-	-
	令和4(2022)	376	326	86.7	-	-

※1 こども心理専攻は2019年度より心理専攻に専攻名称変更

※2 学校基本調査ベース回答(5月1日基準日)

※3 編入生を除く

※4 卒業率、進級率ともに入学者数に対する比率(休学者を除く)

【通信教育課程】

【No.4-2】

入学年度別進級者数・標準年限卒業生数推移表

※秋学期入学者数は翌年度に計上

(単位:人数、%)

学部 入学形態	入学年度	入学者数	3年次進級 (ストレート)		4年次進級 (ストレート)		標準年限卒業	
			人数	進級率	人数	進級率	卒業者	卒業率
こども 心理学部 (1年次入学)	平成28(2016)	75	42	56.0	36	48.0	30	40.0
	平成29(2017)	62	35	56.5	29	46.8	22	35.5
	平成30(2018)	75	43	57.3	35	46.7	30	40.0
	令和元(2019)	68	40	58.8	35	51.5	33	48.5
	令和2(2020)	77	44	57.1	30	39.0	25	32.5
	令和3(2021)	103	65	63.1	63	61.2	-	-
	令和4(2022)	108	64	59.3	-	-	-	-
令和5(2023)	131	-	-	-	-	-	-	
こども 心理学部 (3年次編入)	平成28(2016)	313	-	-	-	-	107	34.2
	平成29(2017)	328	-	-	-	-	106	32.3
	平成30(2018)	346	-	-	-	-	105	30.3
	令和元(2019)	288	-	-	-	-	92	31.9
	令和2(2020)	271	-	-	-	-	89	32.8
	令和3(2021)	312	-	-	-	-	114	36.5
	令和4(2022)	369	-	-	-	-	151	40.9
令和5(2023)	423	-	-	-	-	-	-	
モチベーショ ン 行動科学部 (1年次入学)	平成28(2016)	28	12	42.9	10	35.7	9	32.1
	平成29(2017)	17	12	70.6	10	58.8	8	47.1
	平成30(2018)	17	7	41.2	7	41.2	7	41.2
	令和元(2019)	24	16	66.7	12	50.0	12	50.0
	令和2(2020)	25	16	64.0	16	64.0	15	60.0
	令和3(2021)	28	14	50.0	11	39.3	-	-
	令和4(2022)	30	16	53.3	-	-	-	-
令和5(2023)	45	-	-	-	-	-	-	
モチベーショ ン 行動科学部 (3年次編入)	平成28(2016)	27	-	-	-	-	17	63.0
	平成29(2017)	25	-	-	-	-	15	60.0
	平成30(2018)	21	-	-	-	-	8	38.1
	令和元(2019)	33	-	-	-	-	25	75.8
	令和2(2020)	39	-	-	-	-	28	71.8
	令和3(2021)	44	-	-	-	-	34	77.3
	令和4(2022)	40	-	-	-	-	28	70.0
令和5(2023)	51	-	-	-	-	-	-	
(1年次入学) 合計	平成28(2016)	103	54	52.4	46	44.7	39	37.9
	平成29(2017)	79	47	59.5	39	49.4	30	38.0
	平成30(2018)	92	50	54.3	42	45.7	37	40.2
	令和元(2019)	92	56	60.9	47	51.1	45	48.9
	令和2(2020)	102	60	58.8	46	45.1	40	39.2
	令和3(2021)	131	79	60.3	74	56.5	-	-
	令和4(2022)	138	80	58.0	-	-	-	-
令和5(2023)	176	-	-	-	-	-	-	
(3年次編入) 合計	平成28(2016)	340	-	-	-	-	124	36.5
	平成29(2017)	353	-	-	-	-	121	34.3
	平成30(2018)	367	-	-	-	-	113	30.8
	令和元(2019)	321	-	-	-	-	117	36.4
	令和2(2020)	310	-	-	-	-	117	37.7
	令和3(2021)	356	-	-	-	-	148	41.6
	令和4(2022)	409	-	-	-	-	179	43.8
令和5(2023)	474	-	-	-	-	-	-	

- ・各年度4月1日時点での数字とするため、秋入学生については、翌年度の入学者として計上 (例：2014年度秋入学生は、2015年度入学生として計上)
- ・進級者数は、ストレートで進級できた学生数 (留年→進級は含まない)。
- ・1年次入学の卒業(標準年限外含む)は、留年した卒業生を含む。通信生は経済的あるいは家庭の事情など、4年間で卒業できない者が相当数いるため、累計の卒業率を計上。
- ・3年次編入には、進級要件を設けていないためデータなし。
- ・こども心理学部 (3年次編入) は、卒業を目標としない学生 (教員免許状・認定心理士資格取得のみの目標達成退学) が相当数いるため、卒業率は参考程度。
- ・3年次編入の卒業(標準年限外を含む)は、留年した卒業生を含む。
- ・例えば2017秋入学生は2018年度入学生として集計され、標準年限は2021年9月となる。2018春入学生も同様に2018年度の入学生だが、標準年限は2022年3月であり、同年度入学生ではあるが標準年限が異なる。したがって2017秋入学生が2022年3月に卒業した場合は標準年限外となる

【通学課程】

【資料5-1】

【標準年限】卒業者の専攻・学科別GPA分布推移表

(単位:人、%)

専攻・学科	入学年度	1.50以下	1.51-2.00	2.01-2.50	2.51-3.00	3.01-3.50	3.51-4.00	3.01以上
		構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率
心理専攻 (こども心理専攻)	平成28(2016)	1.3	2.6	14.3	26.0	35.1	20.8	55.8
	平成29(2017)	2.4	20.0	25.9	25.9	23.5	2.4	25.9
	平成30(2018)	3.0	14.1	23.2	31.3	21.2	7.1	28.3
	令和元(2019)	1.0	10.0	16.0	26.0	32.0	15.0	47.0
	令和2(2020)	1.9	3.8	8.7	41.3	37.5	6.7	44.2
こども保育・ 教育専攻	平成28(2016)	1.1	5.5	30.1	30.6	28.4	4.4	32.8
	平成29(2017)	0.0	4.5	19.0	38.5	34.6	3.4	38.0
	平成30(2018)	1.2	4.1	13.5	38.6	37.4	5.3	42.7
	令和元(2019)	0.6	6.9	15.0	41.6	31.8	4.0	35.8
	令和2(2020)	0.0	5.9	16.1	40.3	34.9	2.7	37.6
モチベーショ ン行動科学科	平成28(2016)	18.8	18.8	25.0	12.5	18.8	6.3	25.0
	平成29(2017)	5.3	21.1	29.8	19.3	17.5	7.0	24.6
	平成30(2018)	3.8	13.5	30.8	26.9	17.3	7.7	25.0
	令和元(2019)	1.7	3.3	13.3	21.7	43.3	16.7	60.0
	令和2(2020)	0.0	1.5	16.2	26.5	39.7	16.2	55.9
合計	平成28(2016)	3.1	6.2	25.3	27.4	29.1	8.9	38.0
	平成29(2017)	1.6	11.5	22.7	31.8	28.7	3.7	32.4
	平成30(2018)	2.2	8.7	19.3	34.5	29.2	6.2	35.4
	令和元(2019)	0.9	7.2	15.0	33.3	33.9	9.6	43.5
	令和2(2020)	0.6	4.5	14.0	38.0	36.6	6.4	43.0

・2016年度より、評定の算出方法が変更となった影響でGPA算出方法も変更。よって2016年度前後で、GPA分布が大きく異なっている。

【標準年限】卒業者の学部・入学形態別GPA分布推移表

(単位:人、%)

		専門教育科目							
学部・入学形態	入学年度	1.50以下	1.51-2.00	2.01-2.50	2.51-3.00	3.01-3.50	3.51-4.00	3.01以上	
		構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	
こども心理学部 (1年次入学)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	85.7
		2016春入学生	0.0	0.0	8.7	30.4	47.8	13.0	60.9
	平成29(2017)	0.0	0.0	4.5	22.7	50.0	22.7	72.7	
	平成30(2018)	0.0	0.0	10.0	33.3	33.3	23.3	56.7	
	令和元(2019)	0.0	0.0	3.0	36.4	36.4	24.2	60.6	
	令和2(2020)	0.0	3.1	18.8	15.6	37.5	25.0	62.5	
こども心理学部 (3年次編入)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	6.1	12.1	81.8	93.9
		2016春入学生	0.0	0.0	4.1	13.5	37.8	44.6	82.4
	平成29(2017)	0.0	0.0	1.9	14.2	49.1	34.9	84.0	
	平成30(2018)	0.0	0.0	2.9	17.1	54.3	25.7	80.0	
	令和元(2019)	0.0	0.0	3.3	17.4	41.3	38.0	79.3	
	令和2(2020)	0.0	0.0	5.6	11.2	48.3	34.8	83.1	
	令和3(2021)	0.0	0.0	0.9	13.2	43.9	42.1	86.0	
	令和4(2022)	0.0	0.0	2.5	10.4	47.2	39.9	87.1	
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
		2016春入学生	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
	平成29(2017)	0.0	0.0	0.0	37.5	50.0	12.5	62.5	
	平成30(2018)	0.0	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3	71.4	
	令和元(2019)	0.0	0.0	16.7	25.0	41.7	16.7	58.3	
	令和2(2020)	0.0	0.0	6.7	6.7	60.0	26.7	86.7	
モチベーション 行動科学部 (3年次編入)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
		2016春入学生	0.0	0.0	0.0	18.2	45.5	36.4	81.8
	平成29(2017)	0.0	0.0	6.7	20.0	60.0	13.3	73.3	
	平成30(2018)	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	
	令和元(2019)	0.0	0.0	8.0	8.0	60.0	24.0	84.0	
	令和2(2020)	0.0	0.0	3.6	21.4	42.9	32.1	75.0	
	令和3(2021)	0.0	0.0	2.9	14.7	47.1	35.3	82.4	
	令和4(2022)	0.0	3.3	3.3	16.7	30.0	46.7	76.7	

・各年度、4月1日時点での算出であるため、秋入学者は翌年度に計上。例) 2015年秋学期入学者は2016年度に計上・標準年限卒業者のみを集計の対象としている

・2016年度より、評定の算出方法が変更となった影響でGPA算出方法も変更。したがって2016年度前後で、GPA分布が大きく異なっている。

【通学課程】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

<心理専攻>

(単位:人、%)

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	77	48	62.3
平成29(2017)	85	40	47.1
平成30(2018)	99	48	48.5
令和元(2019)	100	56	56.0
令和2(2020)	104	51	49.0

こども心理アドバイザー資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	77	4	5.2
平成29(2017)	85	15	17.6
平成30(2018)	99	9	9.1
令和元(2019)	100	6	6.0
令和2(2020)	104	10	9.6

こどもサポーター資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	77	8	10.4
平成29(2017)	85	24	28.2
平成30(2018)	99	38	38.4
令和元(2019)	100	31	31.0
令和2(2020)	104	21	20.2

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	77	1	1.3
平成29(2017)	85	3	3.5
平成30(2018)	99	0	0.0
令和元(2019)	100	2	2.0
令和2(2020)	104	1	1.0

准学校心理士資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
-	-	-	-
-	-	-	-
平成30(2018)	99	1	1.0
令和元(2019)	100	2	2.0
令和2(2020)	104	2	1.9

※令和2(2020)年度より開始

【通学課程】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

<こども保育・教育専攻>

(単位:人、%)

保育士資格・幼稚園・小学校教員免許状取得者									
入学年度	卒業者数	①保育士のみ取得		②幼免のみ取得		③保育士・幼免取得		④小免のみ取得	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	183	7	3.8	8	4.4	137	74.9	1	0.5
平成29(2017)	179	17	9.5	1	0.6	129	72.1	2	1.1
平成30(2018)	171	11	6.4	8	4.7	121	70.8	3	1.8
令和元(2019)	173	11	6.4	9	5.2	103	59.5	6	3.5
令和2(2020)	186	12	6.5	8	4.3	110	59.1	8	4.3

入学年度	卒業者数	⑤幼免・小免取得		資格・免許未取得		①+②+③+⑤		④+⑤	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	183	16	8.7	14	7.7	168	91.8	17	9.3
平成29(2017)	179	18	10.1	12	6.7	165	92.2	20	11.2
平成30(2018)	171	23	13.5	5	2.9	163	95.3	26	15.2
令和元(2019)	173	23	13.3	21	12.1	146	84.4	29	16.8
令和2(2020)	186	34	18.3	14	7.5	164	88.2	42	22.6

]

入学年度	卒業者数	①+②+③+④+⑤	
		人数	取得率
平成28(2016)	183	169	92.3
平成29(2017)	179	167	93.3
平成30(2018)	171	166	97.1
令和元(2019)	173	152	87.9
令和2(2020)	186	172	92.5

認定ベビーシッター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	183	47	25.7
平成29(2017)	179	88	49.2
平成30(2018)	171	75	43.9
令和元(2019)	173	89	51.4
令和2(2020)	186	62	33.3

准学校心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
-	-	-	-
平成29(2017)	179	18	10.1
平成30(2018)	171	4	2.3
令和元(2019)	173	3	1.7
令和2(2020)	186	2	1.1

※令和2(2020)年度より開始

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	183	2	1.1
平成29(2017)	179	5	2.8
平成30(2018)	171	0	0.0
令和元(2019)	173	8	4.6
令和2(2020)	186	4	2.2

【通学課程】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

<モチベーション行動科学部>

(単位:人、%)

中学校・高等学校教員免許状取得者							
入学年度	卒業者数	中免取得者		高免取得者		合計	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	32	0	0.0	0	0.0	0	0.0
平成29(2017)	57	3	5.3	3	5.3	6	10.5
平成30(2018)	52	0	0.0	0	0.0	0	0.0
令和元(2019)	52	1	0.0	1	0.0	2	3.8
令和2(2020)	68	5	7.4	5	7.4	10	14.7

公認モチベーション・マネジャーBasic			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	20	62.5
平成29(2017)	57	17	29.8
平成30(2018)	52	15	28.8
令和元(2019)	52	25	48.1
令和2(2020)	68	30	44.1

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	3	9.4
平成29(2017)	57	7	12.3
平成30(2018)	52	3	5.8
令和元(2019)	52	9	17.3
令和2(2020)	68	15	22.1

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	2	6.3
平成29(2017)	57	4	7.0
平成30(2018)	52	0	0.0
令和元(2019)	52	0	0.0
令和2(2020)	68	0	0.0

社会調査士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	11	34.4
平成29(2017)	57	11	19.3
平成30(2018)	52	4	7.7
令和元(2019)	52	8	15.4
令和2(2020)	68	17	25.0

准学校心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
-	-	-	-
-	-	-	-
平成30(2018)	52	1	1.9
令和元(2019)	52	0	0.0
令和2(2020)	68	1	1.5

※令和2(2020)年度より開始

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

秋入学生は翌年度に計上

<こども心理学部> 1年次入学

(単位:人、%)

幼稚園・小学校教員免許取得者									
入学年度	卒業生数	幼免のみ取得者		小免のみ取得者		幼免・小免取得者		教員免許状取得者合計	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	30	5	16.7	14	46.7	2	6.7	21	70.0
平成29(2017)	22	2	9.1	10	45.5	3	13.6	15	68.2
平成30(2018)	30	6	20.0	15	50.0	3	10.0	24	80.0
令和元(2019)	33	3	9.1	9	27.3	4	12.1	16	48.5
令和2(2020)	25	3	12.0	6	24.0	2	8.0	11	44.0

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	30	11	36.7
平成29(2017)	22	9	40.9
平成30(2018)	30	9	30.0
令和元(2019)	33	14	42.4
令和2(2020)	25	10	40.0

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	30	2	6.7
平成29(2017)	22	0	0.0
平成30(2018)	30	0	0.0
令和元(2019)	—	—	—
令和2(2020)	—	—	—

※令和元(2019)年度以降の入学者より取得不可

<こども心理学部> 3年次編入

幼稚園・小学校教員免許取得者							
入学年度	卒業生数	幼免取得者		小免取得者		教員免許状取得者合計	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	107	31	29.0	37	34.6	68	63.6
平成29(2017)	106	28	26.4	35	33.0	63	59.4
平成30(2018)	105	26	24.8	35	33.3	61	58.1
令和元(2019)	92	27	29.3	29	31.5	56	60.9
令和2(2020)	89	25	28.1	34	38.2	59	66.3
令和3(2021)	114	33	28.9	24	21.1	57	50.0
令和4(2022)	151	33	21.9	39	25.8	72	47.7

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業生数	人数	取得率
平成28(2016)	107	35	32.7
平成29(2017)	106	36	34.0
平成30(2018)	105	33	31.4
令和元(2019)	92	28	30.4
令和2(2020)	89	24	27.0
令和3(2021)	114	34	29.8
令和4(2022)	151	58	38.4

【通信教育課程】

【No.6-5】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

秋入学生は翌年度に計上

＜モチベーション行動科学部＞1年次入学

(単位:人、%)

認定心理士資格取得			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	9	6	66.7
平成29(2017)	8	7	87.5
平成30(2018)	7	5	71.4
令和元(2019)	12	7	58.3
令和2(2020)	15	10	66.7

公認モチベーション・マネジャー-Basic			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	9	9	100.0
平成29(2017)	8	8	100.0
平成30(2018)	7	6	85.7
令和元(2019)	12	11	91.7
令和2(2020)	15	15	100.0

レク・インストラクター資格取得			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	9	0	0.0
平成29(2017)	8	0	0.0
平成30(2018)	7	1	14.3
令和元(2019)	—	—	—
令和2(2020)	—	—	—

※2019年度以降の入学者から取得不可

＜モチベーション行動科学部＞3年次編入

(単位:人、%)

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	17	14	82.4
平成29(2017)	15	8	53.3
平成30(2018)	8	5	62.5
令和元(2019)	25	15	60.0
令和2(2020)	28	16	57.1
令和3(2021)	34	21	61.8
令和4(2022)	28	17	60.7

公認モチベーション・マネジャー-Basic			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	17	17	100.0
平成29(2017)	15	13	86.7
平成30(2018)	8	8	100.0
令和元(2019)	25	20	80.0
令和2(2020)	28	23	82.1
令和3(2021)	34	29	85.3
令和4(2022)	28	24	85.7

・通信では、教員免許状取得、認定心理士、モチベーション・マネジャー-Basic資格取得の実態を把握できない。理由は次の通り。このため参考値となる。

①課程の特性上、全員回答を目的とした資格取得調査が困難であること。

②教員免許申請が大学一括によるものではなく、在籍関係が終了した後、学生が個人で申請をしていること。

・上記の理由から、実際に資格・免許を申請・取得した人数ではなく、資格取得にかかる要件を充足した者を集計している。

卒業時アンケート

(単位:%)

	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば満足	満足して いない	満足以上	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば満足	満足して いない	満足以上	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば満足	満足して いない	満足以上
授業全般満足度	21.9	59.4	14.8	3.9	81.3	20.4	61.3	15.3	3.0	81.7	22.3	62.8	13.1	1.8	85.1
心理専攻	26.8	55.4	14.3	3.5	82.2	12.8	65.4	17.9	3.8	78.2	27.0	58.4	14.6	0.0	85.4
保。教専攻	18.1	62.7	15.7	3.5	80.8	23.9	61.1	13.3	1.8	85.0	23.0	63.5	11.1	2.4	86.5
モチベ	30.3	51.5	12.1	6.1	81.8	25.0	54.5	15.9	4.5	79.5	13.6	67.8	15.3	3.4	81.4
未来祭・学園祭満足	27.0	44.5	18.4	10.1	71.5	35.2	43.3	14.2	7.3	78.5	18.6	46.4	21.2	13.9	65.0
心理専攻	21.4	51.8	16.1	10.7	73.2	22.1	48.1	20.8	9.1	70.2	15.7	44.9	28.1	11.2	60.6
保。教専攻	30.7	43.4	16.3	9.6	74.1	44.2	42.5	9.7	3.5	86.7	25.4	45.2	19.8	9.5	70.6
モチベ	27.3	33.3	15.2	24.2	60.6	34.9	37.2	14.0	14.0	72.1	8.5	50.8	13.6	27.1	59.3

出席率	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	100%	80~ 99%	50~ 79%	50%未満	80%以上	100%	80~ 99%	50~ 79%	50%未満	80%以上	100%	80~ 99%	50~ 79%	50%未満	80%以上
出席率	22.4	57.6	15.7	4.3	80.0	41.9	46.2	10.6	1.3	88.1	33.2	56.5	9.5	0.7	89.7
心理専攻	26.8	44.6	25.0	3.6	71.4	38.5	48.6	11.6	1.3	87.1	33.7	58.4	6.7	1.1	92.1
保。教専攻	19.9	65.1	10.8	4.2	84.9	50.0	41.2	7.9	0.9	91.2	35.7	53.1	10.3	0.8	88.8
モチベ	27.3	42.4	24.2	6.1	69.7	27.3	54.5	15.9	2.3	81.8	27.1	61.0	11.9	0.0	88.1

1週間あたりの 学習時間	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	10時間 以上	5~10 時間くらい	2~5 時間くらい	2時間 未満	5時間 以上	10時間 以上	5~10 時間くらい	2~5 時間くらい	2時間 未満	5時間 以上	10時間 以上	5~10 時間くらい	2~5 時間くらい	2時間 未満	5時間 以上
学習時間	3.5	5.4	16.7	74.4	8.9	2.1	2.1	20.0	75.8	4.2	1.8	2.2	23.3	72.6	4.0
心理専攻	1.7	6.9	24.1	67.3	8.6	2.6	2.6	20.4	74.4	5.2	3.4	2.2	41.5	64.0	5.6
保。教専攻	2.4	3.6	13.3	80.7	6.0	1.8	2.6	18.4	77.2	4.4	1.6	0.0	14.3	84.1	1.6
モチベ	12.1	12.1	21.2	54.6	24.2	2.3	0.0	22.7	75.0	2.3	0.0	6.8	32.2	61.0	6.8

未来祭、三幸フェスを体験 することで社会に出て役立 つかを身につけられたか	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	そう思う	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば満足	そう思わ ない	そう思う 以上	そう思う	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば満足	そう思わ ない	そう思う 以上	そう思う	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば満足	そう思わ ない	そう思う 以上
未来祭	16.4	43.4	21.9	18.3	59.8	15.7	47.0	20.8	16.5	62.7	4.3	54.5	16.8	24.4	58.8
心理専攻	14.3	42.9	23.2	19.6	57.2	9.0	48.7	25.6	16.7	57.7	2.4	57.9	19.0	20.8	60.3
保。教専攻	16.9	44.0	22.9	16.2	60.9	22.8	44.7	17.5	15.0	67.5	7.0	53.3	12.6	27.2	60.3
モチベ	15.2	42.4	15.2	27.2	57.6	9.1	50.0	20.5	20.4	59.1	2.7	69.3	21.6	27.9	72.0
三幸フェスティバル	19.1	34.8	24.6	21.5	53.9	20.4	39.1	22.1	18.4	59.5	17.2	33.6	16.7	32.5	50.8
心理専攻	19.6	30.4	32.1	17.9	50.0	12.8	43.6	24.4	19.2	56.4	16.6	32.6	17.5	33.2	49.2
保。教専攻	20.5	37.3	22.3	19.9	57.8	29.2	36.3	19.5	15.0	65.5	19.5	36.1	24.8	31.1	55.6
モチベ	9.1	30.3	24.2	36.4	39.4	11.4	38.6	25.0	25.0	50.0	12.6	29.7	23.4	34.2	42.3

卒業時アンケート

(単位:%)

<希望通りの進路であったか>

希望通りの進路であったか	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	希望通り	ほぼ希望通り	少し希望と違う	希望と違う	決まっていない	希望通り	ほぼ希望通り	少し希望と違う	希望と違う	決まっていない	希望通り	ほぼ希望通り	少し希望と違う	希望と違う	決まっていない
希望通りの進路	43.1	31.4	13.7	6.3	5.5	40.7	27.1	16.5	5.9	9.8	46.8	35.5	13.4	4.3	*****
心理専攻	23.2	33.9	25.0	10.8	7.1	32.1	23.1	24.4	7.7	12.7	46.5	35.2	14.1	4.2	*****
保.教専攻	55.4	28.9	10.2	1.3	4.2	50.9	28.9	11.4	1.8	7.0	53.3	35.2	8.6	2.9	*****
モチベ	15.2	39.4	12.1	24.2	9.1	29.5	29.5	15.9	13.6	11.5	34.5	36.4	21.8	7.3	*****

※進路決定者のみを対象とした。

<入学して目標としたことの達成>

入学時に目標としたこととは達成できたと思うか	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	そう思う以上	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	そう思う以上	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	そう思う以上
目標の達成	22.7	49.8	19.6	7.9	72.5	18.8	52.1	17.5	11.6	70.9	19.3	53.8	17.7	9.2	73.1
心理専攻	19.6	48.2	23.2	9.0	67.8	15.6	49.4	16.9	18.1	65.0	17.3	50.6	18.5	13.6	67.9
保.教専攻	21.7	55.4	16.3	6.6	77.1	19.5	57.5	14.2	8.8	77.0	21.6	54.1	17.1	7.2	75.7
モチベ	33.3	24.2	30.3	12.2	57.5	22.7	43.2	27.3	6.8	65.9	17.5	57.9	17.5	7.0	75.4

<大学で身に付いた力>

社会性:コミュニケーションの力、協働する力 倫理観:自己を統べる力 創造力:創造し表現する力
 市民性:社会の一員として責任ある行動をする力 生涯学習力:常に学び、向上を続ける態度
 受容性:自分たちの文化、異文化を理解し認める力 問題解決力:情報収集-分析-解釈-表現-発信する力

	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生					令和4(2022)年度卒業生				
	とても身に付いた	身に付いた	どちらかといえばいない	あまり身に付かなかった	全く身に付かなかった	とても身に付いた	身に付いた	どちらかといえばいない	あまり身に付かなかった	全く身に付かなかった	とても身に付いた	身に付いた	どちらかといえばいない	あまり身に付かなかった	全く身に付かなかった
社会性	15.3	56.5	18.0	6.7	3.5	20.1	56.4	16.7	3.8	3.0	22.1	50.2	18.5	6.0	3.2
心理専攻	23.2	46.4	19.6	8.9	1.9	11.8	55.3	22.4	6.6	3.9	21.0	51.9	18.5	6.2	2.5
保.教専攻	12.7	59.0	18.7	6.0	3.6	30.7	52.6	13.2	0.9	2.6	27.0	46.8	17.1	4.5	4.5
モチベ	15.2	60.6	12.1	6.1	6.0	6.8	68.2	15.9	6.8	2.3	14.0	54.4	21.1	8.8	1.8
市民性	13.7	55.7	19.6	6.3	4.7	16.6	56.2	20.9	3.4	2.9	18.1	53.0	18.5	5.6	4.8
心理専攻	19.6	53.6	16.1	7.1	3.6	14.3	49.4	26.0	6.5	3.8	17.3	53.1	22.2	4.9	2.5
保.教専攻	10.8	57.2	22.3	5.4	4.3	20.2	57.9	18.4	0.9	2.6	20.7	53.2	17.1	3.6	5.4
モチベ	18.2	51.5	12.1	9.1	9.1	11.4	63.6	18.2	4.5	2.3	14.0	52.6	15.8	10.5	7.0
受容性	17.6	56.9	16.9	5.1	3.5	22.7	56.7	14.6	3.9	2.1	24.5	48.2	19.7	3.6	4.0
心理専攻	23.2	53.6	12.5	7.1	3.6	16.9	53.2	19.5	6.5	3.9	22.2	50.6	23.5	1.2	2.5
保.教専攻	13.9	59.0	19.3	4.8	3.0	25.7	57.5	13.3	1.8	1.7	27.9	43.2	18.9	3.6	6.3
モチベ	27.3	51.5	12.1	3.0	6.1	25.6	60.5	9.3	4.6	0.0	21.1	54.4	15.8	7.0	1.8
倫理観	12.2	52.9	25.1	6.7	3.1	20.4	52.3	19.6	3.8	3.9	18.9	47.0	24.9	4.4	4.8
心理専攻	14.3	53.6	21.4	8.9	1.8	18.2	48.1	24.7	5.2	3.8	19.8	46.9	29.6	1.2	2.5
保.教専攻	10.2	53.0	28.9	4.8	3.1	20.2	54.4	19.3	3.5	2.6	19.8	45.9	22.5	5.4	6.3
モチベ	18.2	51.5	12.1	12.1	6.1	25.0	54.5	11.4	2.3	6.8	15.8	49.1	22.8	7.0	5.3
生涯学習力	13.3	47.5	29.4	7.1	2.7	15.8	49.1	23.1	7.7	4.3	19.3	45.8	24.1	5.2	5.6
心理専攻	17.9	51.8	23.2	5.4	1.7	11.8	40.8	30.3	11.8	5.3	17.3	49.4	25.9	4.9	2.5
保.教専攻	10.8	47.6	31.9	7.2	2.5	19.3	55.3	18.4	4.4	2.6	19.8	46.8	34.4	2.7	7.2
モチベ	18.2	39.4	27.3	9.1	6.0	13.6	47.7	22.7	9.1	6.9	21.1	38.6	22.8	10.5	7.0
課題解決力	18.8	44.7	24.7	7.5	4.3	14.5	53.6	23.0	4.7	4.2	17.7	47.8	23.3	6.0	7.2
心理専攻	21.4	46.4	19.6	8.9	3.7	13.0	49.4	26.0	5.2	6.4	16.0	48.1	27.2	6.2	2.5
保.教専攻	12.7	48.8	26.5	7.8	4.2	15.8	57.0	20.2	4.4	2.6	19.8	45.9	22.5	5.4	6.3
モチベ	45.5	21.2	24.2	3.0	6.1	13.6	52.3	25.0	4.5	4.6	15.8	50.9	19.3	7.0	7.0
創造力	15.7	49.0	25.1	7.1	3.1	16.3	45.5	25.8	6.4	6.0	18.1	43.0	26.5	6.8	5.6
心理専攻	16.1	46.4	23.2	14.3	0.0	11.8	40.8	34.2	5.3	7.9	13.6	42.0	34.6	7.4	2.5
保.教専攻	15.1	50.0	26.5	4.8	3.6	19.5	51.3	22.1	3.5	3.6	20.7	45.0	25.2	2.7	6.3
モチベ	18.2	48.5	21.1	6.1	6.1	15.9	38.6	20.5	15.9	9.1	19.3	40.4	17.5	14.0	8.8

<卒業時に不足している力>

下記から当てはまるものを複数回答	令和元(2019)年度卒業生 256人	令和3(2021)年度卒業生 239人	令和4(2022)年度卒業生 249人
一般教養	105	114	125
専門知識・技術	122	103	105
積極性・行動力	100	103	99
社会人としてのマナー	75	74	70
就職への意欲	67	69	70
取得資格	63	63	49
就職情報量	45	46	30
特になし	21	17	18

【集約版】【標準年限卒業生】就職先の実績推移

	平成28(2016)年度入学者				平成29(2017)年度入学者				平成30(2018)年度入学者				平成31(令和元(2019)年度)入学者			
	令和元(2019)年度卒業生		令和2(2020)年度卒業生		令和2(2020)年度卒業生		令和3(2021)年度卒業生		令和3(2021)年度卒業生		令和4(2022)年度卒業生		令和4(2022)年度卒業生			
	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	
建設業	2	1	0.7	2	1	0.4	1	2	5	1.7	2	2	1	5	1.6	
製造業	1	1	1.1	3	1	2.5	7	2	4	1.3	3	6	9	2.9		
電気・ガス			0.0			0.0				0.0				1	0.3	
情報通信業	6	4	4.4	4	3	2.9	8	9	16	5.4	7	5	7	19	6.1	
運輸業		1	0.4		1	0.4		2	4	1.3		2		5	1.6	
卸売り・小売り業	9	6	8.5	7	4	6.9	8	17	37	12.4	14	4	19	37	12.0	
金融	2	1	1.1	3	2	1.8	5	1	2	0.7		3		3	1.0	
不動産・物品賃貸	3	3	2.6	3	2	2.2	6	1	2	0.7	1	1		2	0.6	
専門・技術サービス業		0	0.0		0	0.0		1	3	1.3	1	1		2	0.6	
飲食・宿泊	4	2	2.6	4	2	2.2	6	5	13	4.4	5	4	2	11	3.6	
生活関連・サービス業・娯楽	2	2	1.5	3	4	3.2	9	3	4	1.3	3	2	2	5	1.6	
学校教育・その他の教育	2	1	1.5	7	5	4.4	4	4	40	13.4	4	48	1	53	17.2	
医療福祉	24	101	47.4	21	106	47.3	131	28	105	45.0	19	86	10	115	37.2	
その他サービス業	15	5	10.0	19	5	14.1	39	15	29	9.7	21	6	5	32	10.4	
組合		0	0.0	1	1	0.4	1	0	0	0.0	1	1		1	0.3	
公務員	2	1	1.1	0	0	0.0	3	3	4	1.3	2	1		3	1.0	
上記以外		0	0.0		0	0.0			0	0.0		1	2	4	1.3	
合計	66	173	100.0	71	161	100.0	277	92	156	100.0	87	165	57	309	100.0	

	令和2(2020)年度入学者				令和3(2021)年度入学者				
	令和5(2023)年度卒業生		令和6(2024)年度卒業生		令和5(2023)年度卒業生		令和6(2024)年度卒業生		
	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率	心理専攻 保・教専攻	モ子ベ 合計	構成比率
建設業	1	0	1.5			0.0			0.0
製造業	2	1	1.5			0.0			0.0
電気・ガス	0	1	0.7			0.0			0.0
情報通信業	7	1	5.2			0.0			0.0
運輸業	2	1	2.2			0.0			0.0
卸売り・小売り業	13	7	12.6			0.0			0.0
金融	5	2	3.3			0.0			0.0
不動産・物品賃貸	2	0	1.5			0.0			0.0
専門・技術サービス業	0	0	1.1			0.0			0.0
飲食・宿泊	1	6	1.5			0.0			0.0
生活関連・サービス業・娯楽	3	1	2.6			0.0			0.0
学校教育・その他の教育	6	69	28.9			0.0			0.0
医療福祉	28	75	40.0			0.0			0.0
その他サービス業	19	16	18.5			0.0			0.0
組合	0	0	0.0			0.0			0.0
公務員	1	1	1.1			0.0			0.0
上記以外	1	0	0.4			0.0			0.0
合計	91	181	125.2	0	0	0.0	0	0	0.0

身につけるべき学士力調査

目的

学士力の基礎資料を得る。

対象

2023年3月卒業生（対象者213名）を対象とした。回答者は心理専攻75名（回答率：73.5%）、こども保育・教育専攻82名（回答率：44.6%）、モチベーション行動科学部41名（回答率：64.1%）である。

※2018年度以前は専攻名が「こども心理専攻」であったが便宜上「心理専攻」で統一する。

結果と考察

汎用スキルについて、本学の卒業生は「相手の意見を丁寧に聞くことができる。」「自己の良心及び法規・社会のルールに従って行動できる。」「他者と協調して行動できる。」「意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。」「自分と周囲の人々や物事の関係性を理解できる。」といった、他者の立場の違いを認めコミュニケーションをすることや他者と協調して活動すること、社会のルールや規範に従い行動することについて、80%以上が身につけることができたと評価している。また、「他者に目標や方向性を示し、その実現のために行動できる。」「目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる。」「状況や変化に沈着な対応を行い、適正な行動ができる。」「自らを律して行動できる。」についても70%近くが身につけることが出来たと評価している。

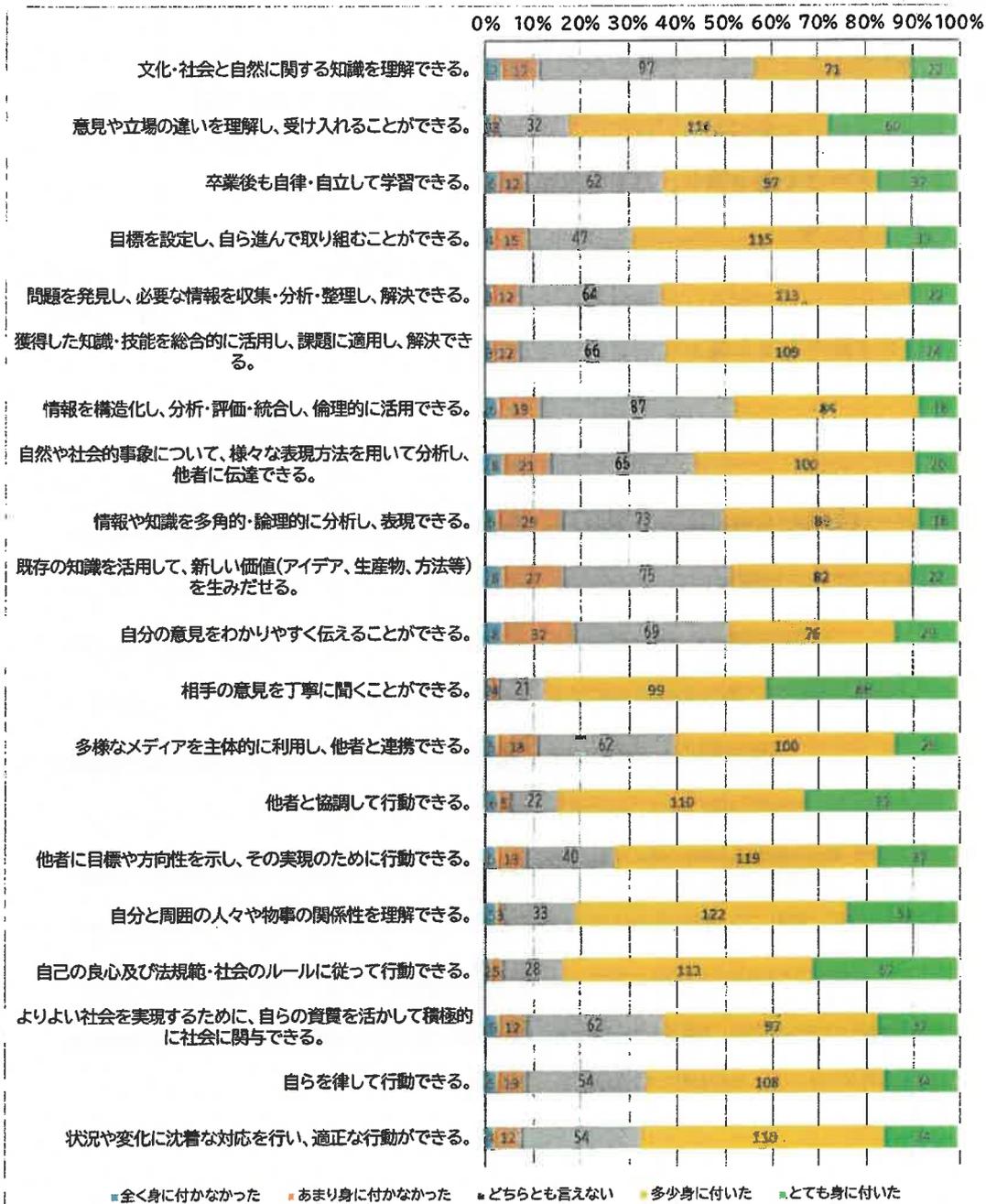
一方で、「自分の意見をわかりやすく伝えることができる」については20%程度、「既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる。」「情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる。」については15%程度の卒業生が身につけることができなかつたと評価していた。

これらの結果から、本学の卒業生の多くは、周囲の対人関係に気を配り、諦めずコミュニケーションする力を獲得し、他者と共に状況に応じて行動することが出来ているが、問題を多角的に分析したり、既存知識を活かして新たな価値を見いだしたり、適切な表現や主張を行うことなどには不十分さを感じていることが明らかになった。

表1 汎用スキル（全体）の平均と標準偏差

項目	平均	標準偏差
1 文化・社会と自然に関する知識を理解できる。	3.39	0.785
2 意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。	4.06	0.608
3 卒業後も自律・自立して学習できる。	3.69	0.862
4 目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる。	3.75	0.819
5 問題を発見し、必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。	3.66	0.722
6 獲得した知識・技能を総合的に活用し、課題に適用し、解決できる。	3.66	0.733
7 情報を構造化し、分析・評価・統合し、論理的に活用できる。	3.42	0.864
8 自然や社会的事象について、様々な表現方法を用いて分析し、他者に伝達できる。	3.48	0.943
9 情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる。	3.41	0.951
10 既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる。	3.38	0.995
11 自分の意見をわかりやすく伝えることができる。	3.40	0.952
12 相手の意見を丁寧に聞くことができる。	4.24	0.686
13 多様なメディアを主体的に利用し、他者と連携できる。	3.61	0.943
14 他者と協調して行動できる。	4.09	0.822
15 他者に目標や方向性を示し、その実現のために行動できる。	3.79	0.814
16 自分と周囲の人々や物事の関係性を理解できる。	3.99	0.730
17 自己の良心及び法規範・社会のルールに従って行動できる。	4.10	0.639
18 よりよい社会を実現するために、自らの資質を活かして積極的に社会に関与できる。	3.69	0.952
19 自らを律して行動できる。	3.72	0.842
20 状況や変化に沈着な対応を行い、適正な行動ができる。	3.75	0.755

図1 汎用スキルについての評価分布

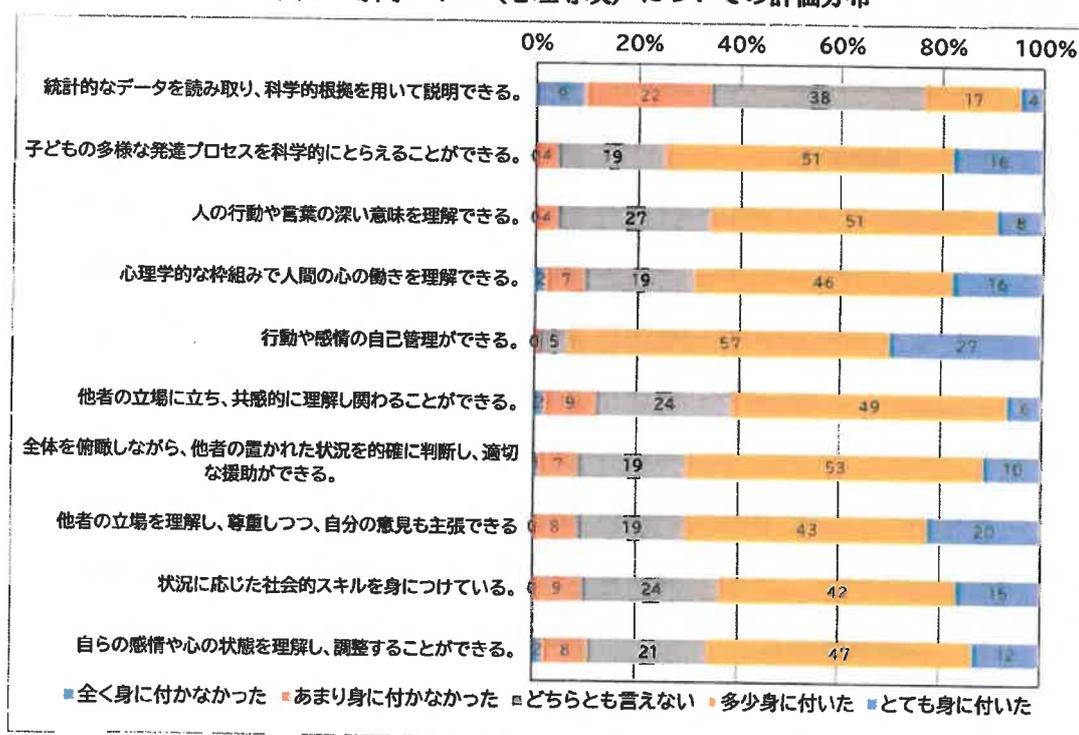


専門スキル (心理専攻)

心理専攻における専門スキルの獲得では、「行動や感情の自己管理ができる。」「子どもの多様な発達プロセスを科学的にとらえることができる。」「全体を俯瞰しながら、他者の置かれた状況を的確に判断し、適切な援助ができる。」「他者の立場を理解し、尊重しつつ、自分の意見も主張できる」については7割以上が身に付いたと評価している。一方で「統計的なデータを読み取り、科学的根拠を用いて説明できる。」については、2割程度にとどまっている。

これらのことから、卒業生は自己管理や子どもの発達理解や支援について、また他者とのコミュニケーションについて獲得できているが、科学的な客観的な事象の理解や説明については不十分であると捉えているといえるだろう。

図2 専門スキル (心理専攻) についての評価分布

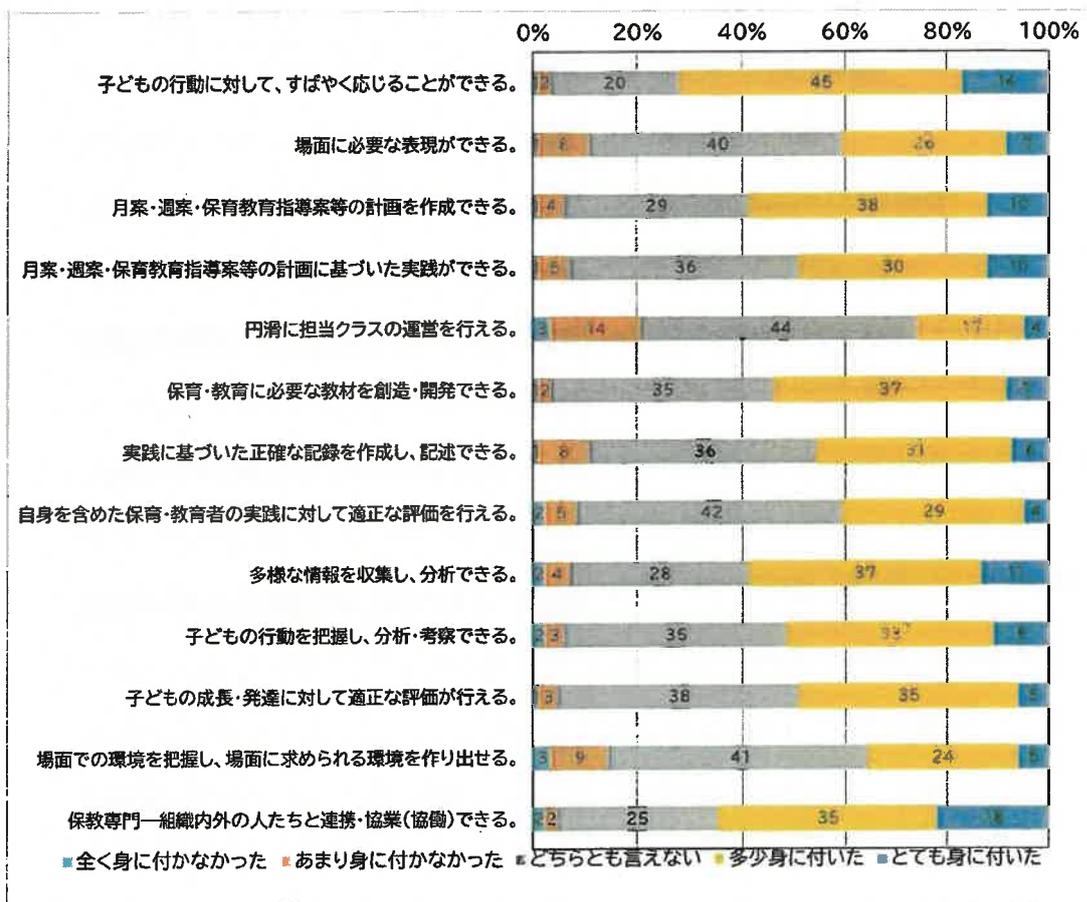


専門スキル（こども保育・教育専攻）

こども保育・教育専攻における専門スキルの獲得では、「こどもの行動に対して、すばやく応じることができる」や「組織内外の協働」、「月案・週案・保育教育指導案等の計画を作成できる」、「多様な情報を収集し、分析できる。」について、6～7割近くが獲得できていると評価している。一方で、「円滑に担当クラスの運営を行える」については3割以下に留まっていた。

このような結果から、実習などを通して個別のこどもへの対応や指導案の作成、保育者間の協働などについて獲得に自信を持つことができている、クラスなど集団での活動がコロナ禍における実習が一定の制限下で行われたことから、クラス運営についての課題がうかがわれた。

図3 専門スキル（こども保育・教育専攻）についての評価分布

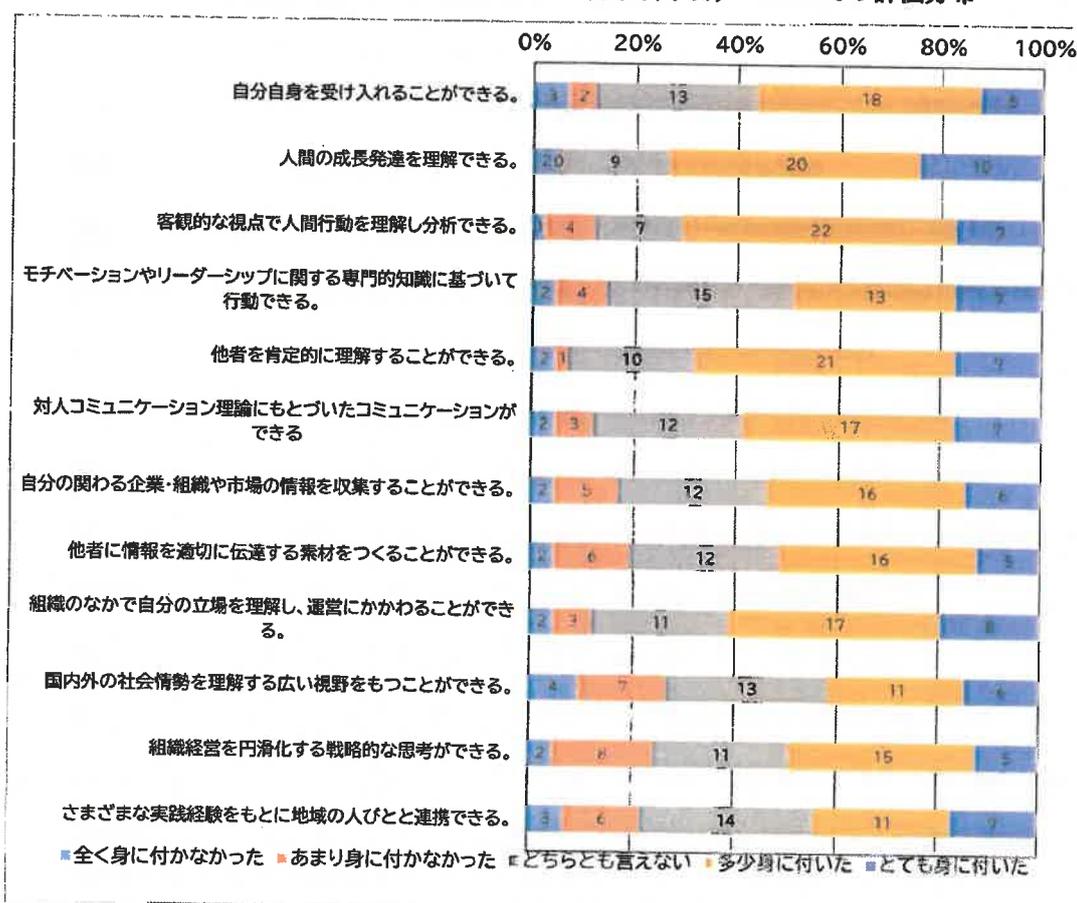


専門スキル（モチベーション行動科学部）

モチベーション行動科学部における専門スキルの獲得では、「人間の成長発達を理解できる」や「客観的な視点で人間行動を理解し分析できる」、「他者を肯定的に理解することができる」については、7割以上の卒業生が獲得できていると評価している。一方で、「国内外の社会情勢を理解する広い視野を持つことが出来る」や、「さまざまな実践経験をもとに地域の人びとと連携できる。」については、やや獲得ができていないと評価する学生が多かった。

これらのことから、人間理解についての発達の、科学的な視点や身近な他者への肯定的な視点を獲得することができているといえるが、社会情勢や地域社会との連携などよりマクロな視点の求められる領域が低く評価されていた。

図4 専門スキル（モチベーション行動科学部）についての評価分布



心理専攻「カリキュラム・ポリシー調査」

カリキュラム・ポリシー(CP)

幅広い教養及びキャリア教育を1年次から履修することと同時に、子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理と行動の理解を基盤とした以下の教育を行う。

○心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。

○心理学以外の分野の学び、また、人と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりを通して、人間理解を深める。

○卒業研究科目では、こども心理演習Ⅰ(3年次)、こども心理演習Ⅱ(3年次)、卒業研究・卒業論文を必修として全員に課し、学問研究を深める。

○本学の共通及び専攻が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指す。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 心理学以外の分野の学び、また、人と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりを通して、人間理解を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 卒業研究科目を通して、学問研究を深めることができる。(3年生以上回答)	6	5	4	3	2	1
(4) 学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)が身についている。	6	5	4	3	2	1
(5) 一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)体系的・実践的な知識・技能。	4.43	91.2%	8.8%	4.37	79.3%	20.7%	4.48	87.2%	12.8%
(2)人間理解を深める。	4.51	90.9%	9.1%	4.48	83.3%	16.7%	4.60	87.8%	12.2%
(3)学問研究を深める(3年生)。	4.61	92.4%	7.6%	4.48	81.4%	18.6%	4.75	90.7%	9.3%
(4)学士力が身についている。	4.48	91.9%	8.1%	4.38	80.8%	19.2%	4.61	87.2%	12.8%
(5)講義、演習、実習の受講。	4.45	92.4%	7.6%	4.34	80.8%	19.2%	4.54	85.7%	14.3%

こども保育・教育専攻「カリキュラム・ポリシー調査」

カリキュラム・ポリシー(CP)

幅広い教養及びキャリア教育を1年次から履修することと同時に、子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達の理解を基盤とした以下の教育を行う。

○子ども理解に根ざした心理学・保育学・教育学・福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。

○子どもの「育ち」と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。

○卒業研究科目では、こども保育・教育演習Ⅰ(3年次)、こども保育・教育演習Ⅱ(3年次)、卒業研究・卒業論文を必修として全員に課し、学問研究を深める。

○本学の共通及び専攻が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指す。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わ ない	そう 思 わ ない	全く 思 わ ない
(1) 子ども理解に根ざした心理学・保育学・教育学・福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもの「育ち」と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 卒業研究科目を通して、学問研究を深めることができる。(3年生以上回答)	6	5	4	3	2	1
(4) 学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)が身についている。	6	5	4	3	2	1
(5) 一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)体系的・実践的な知識・技能	4.63	93.9%	6.1%	4.36	83.1%	16.9%	4.48	84.7%	15.3%
(2)家庭、社会、環境、文化の理解	4.66	93.7%	6.3%	4.39	83.3%	16.7%	4.51	85.0%	15.0%
(3)学問研究を深める(3年生)。	4.64	92.0%	8.0%	4.38	79.3%	20.7%	4.46	81.7%	18.3%
(4)学士力が身についている。	4.55	90.9%	9.1%	4.43	83.1%	16.9%	4.51	86.3%	13.7%
(5)講義、演習、実習の受講。	4.53	92.5%	7.5%	4.49	84.2%	15.8%	4.45	83.1%	16.9%

モチベーション行動科学部「カリキュラム・ポリシー調査」

カリキュラム・ポリシー(CP)

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目、キャリア科目、演習科目の下に科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

(1)一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、英語においては習熟度に基づいたクラス編成を行い、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。

(2)専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群に置かれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。

(3)キャリア科目では、学内外で社会に触れる機会を設け、知識・技能を実践に活かす力を身につけることを目的に、早い時期からのキャリア教育に取り組む。

(4)プロジェクト(課程外活動)を通して、個人を見つめ、他者と関わり、組織を動かす自立した人間性や心の豊かさの充実を図る。

(5)幅広い教養及びキャリア教育及び専門科目を1年次から同時に履修するとともに、通学課程の演習科目では、1年次から卒業時まで学生一人一人の学修を促進するために、基礎演習(1年～2年次)、専門演習(3年次)、卒業研究(4年次)を必修とする。また、単位には含まれないが、学生は複数の専門演習やゼミに参加することも認められ(「ダブル・ゼミ」)、複合的な視点から学修を進める。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
(1)モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2)学内外で社会に触れる機会があり、知識・技能を実践に活かす力を身につけることを目的とした、キャリア教育を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(3)プロジェクト(課程外活動)を通して、個人を見つめ、他者と関わり、組織を動かす自立した人間性や心の豊かさを学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(4)1年次から卒業時まで学生一人一人の学修を促進するために、基礎演習(1年～2年次)、専門演習(3年次)、卒業研究(4年次)を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(5)一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)モチベーション行動科学の基礎を学ぶ。	4.48	89.9%	10.1%	4.23	82.0%	18.0%	4.39	84.4%	15.6%
(2)キャリア教育を学ぶ。	4.42	87.7%	12.3%	4.26	76.6%	23.4%	4.40	81.4%	18.6%
(3)人間性、心の豊かさを学ぶ。	4.61	92.0%	8.0%	4.25	74.3%	25.7%	4.39	78.4%	21.6%
(4)基礎演習、専門演習、卒業研究	4.69	91.3%	8.7%	4.52	85.0%	15.0%	4.42	79.4%	20.6%
(5)講義、演習、実習の受講。	4.67	92.9%	7.1%	4.34	83.8%	16.2%	4.49	83.9%	16.1%

【通信教育課程】

こども心理学部「カリキュラム・ポリシー調査」

カリキュラム・ポリシー(CP)

幅広い教養を1年次から履修することと同時に、子どもを中心とした心理と行動の理解及び子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達を理解を基盤とした以下の教育を行う。

- こども心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。
- 子ども理解に根ざした心理学、保育学、教育学、福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。
- 子どもの家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。
- 選択により卒業研究科目として、こども心理学演習(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。
- 本学の共通及び通信教育課程が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指す。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1)こども心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2)子ども理解に根ざした心理学、保育学、教育学、福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(3)子どもの家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(4)選択により卒業研究科目として、こども心理学演習(3年次)、卒業研究(4年次)を履修することができる。	6	5	4	3	2	1
(5)本学の共通及び通信教育課程が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指すことができる。	6	5	4	3	2	1
(6)一般教養科目、専門教育科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)体系的・実践的な知識・技能の学修	5.08	97.9%	2.1%	5.03	97.5%	2.5%	4.75	87.2%	12.8%
(2)心理学、保育学、教育学等学修	5.24	96.8%	3.2%	5.19	98.9%	1.1%	4.81	88.5%	11.5%
(3)子どもと社会等との関わり	5.06	94.7%	5.3%	5.05	97.5%	2.5%	4.79	88.1%	11.9%
(4)心理学演習、卒業研究の履修。	4.42	80.4%	19.6%	4.40	81.5%	18.5%	4.44	77.4%	22.6%
(5)学士力の形成を目指す。	4.69	90.5%	9.5%	4.77	92.0%	8.0%	4.68	87.2%	12.8%
(6)講義、演習、実習の受講。	4.97	95.3%	4.7%	5.08	96.4%	3.6%	4.98	90.8%	9.2%

【通信教育課程】

モチベーション行動科学部「カリキュラム・ポリシー調査」

カリキュラム・ポリシー(CP)

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、テキスト科目、スクーリング科目、メディア科目を有機的に連携させた授業を開講する。

(1)一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、英語においては習熟度に基づいたクラス編成を行い、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。

(2)専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群におかれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。

(3)通信教育課程では選択により卒業研究科目として、演習Ⅰ(3年次)、演習Ⅱ(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1)モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2)卒業研究科目として、演習Ⅰ(3年次)、演習Ⅱ(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(3)一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成したテキスト科目、スクーリング科目、メディア科目を有機的に連携させた授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)モチベ科学の基礎を学ぶ。	5.04	91.7%	8.3%	4.97	97.2%	2.8%	4.69	93.3%	6.7%
(2)演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究で学問研究	4.38	77.1%	22.9%	3.93	73.2%	26.8%	3.76	60.0%	40.0%
(3)テキスト科目、スクーリング科目、メディア科目の履修	4.93	93.3%	6.7%	4.82	90.9%	9.1%	4.68	86.4%	13.6%

授業評価アンケート

カテゴリー	質問項目	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
授業準備 ・内容	1. 準備されていた教材（配布資料、動画、スライドなど）は十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2. 授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
授業方法	3. 質問をする機会は十分あったと思いますか。	5	4	3	2	1
	4. 自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
教員の意欲	5. 教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	6. 教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	7. 教員は、学びやすい授業環境を作るように努めていたと思いますか。	5	4	3	2	1
学ぶ意欲	8. あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	9. あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
	10. あなたは、授業に参加するにあたって十分な準備をして臨みましたか。	5	4	3	2	1
	11. あなたは、授業中に関心をもった内容について深く考えましたか。	5	4	3	2	1
計画的な受講	12. あなたは、時間を決めて受講するなど、この授業を計画的に受けられましたか。	5	4	3	2	1
	質問項目	多い	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少ない
課題の量	13. この授業の課題の量はどうでしたか。	5	4	3	2	1
	質問項目	難し	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい
難易度	14 授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	4	3	2	1

<通学・全学>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目 番号	令和4(2022)年度						令和5(2023)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	6,157	4.45	0.36	5,574	4.53	0.35	6,936	4.35	0.40	6,568	4.45	0.36
2	6,157	4.58	0.25	5,573	4.62	0.26	6,975	4.54	0.30	6,567	4.56	0.28
3	6,161	4.18	0.49	5,576	4.38	0.37	6,937	4.14	0.58	6,567	4.31	0.35
4	6,163	4.38	0.34	5,575	4.45	0.34	6,967	4.36	0.36	6,564	4.48	0.30
5	6,160	4.42	0.42	5,574	4.50	0.44	6,969	4.41	0.42	6,569	4.50	0.46
6	6,162	4.38	0.42	5,574	4.48	0.41	6,951	4.33	0.45	6,568	4.43	0.43
7	6,052	4.35	0.40	5,512	4.44	0.38	6,758	4.31	0.39	6,520	4.43	0.35
8	6,163	4.33	0.39	5,574	4.37	0.41	6,952	4.29	0.42	6,565	4.37	0.39
9	6,155	4.12	0.55	5,576	4.20	0.51	6,926	4.07	0.58	6,565	4.22	0.49
10	6,164	4.15	0.35	5,575	4.18	0.41	6,937	4.00	0.39	6,563	4.10	0.34
11	6,164	4.20	0.36	5,574	4.27	0.36	6,947	4.08	0.41	6,566	4.24	0.34
12	3,863	4.41	0.35	3,306	4.44	0.35	3,996	4.29	0.39	3,488	4.39	0.29
13	6,146	3.27	0.35	5,568	3.25	0.31	7,009	3.25	0.38	6,564	3.22	0.28
14	6,160	3.50	0.36	5,575	3.52	0.35	7,009	3.42	0.39	6,568	3.37	0.37

授業評価アンケート

<心理専攻>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目 番号	令和4(2022)年度						令和5(2023)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	858	4.43	0.36	72	4.46	0.40	1,137	4.45	0.46	1,089	4.50	0.48
2	858	4.59	0.23	781	4.59	0.28	1,136	4.60	0.30	1,090	4.60	0.42
3	860	4.24	0.42	781	4.36	0.36	1,126	4.13	0.60	1,089	4.36	0.34
4	860	4.44	0.30	781	4.47	0.31	1,133	4.34	0.39	1,089	4.41	0.40
5	860	4.44	0.44	782	4.41	0.53	1,132	4.40	0.49	1,089	4.50	0.64
6	860	4.40	0.38	782	4.40	0.46	1,133	4.42	0.42	1,090	4.47	0.53
7	846	4.37	0.36	772	4.40	0.45	1,103	4.35	0.42	1,082	4.44	0.50
8	861	4.34	0.34	781	4.32	0.42	1,133	4.35	0.44	1,089	4.41	0.50
9	860	4.14	0.46	781	4.13	0.55	1,127	4.07	0.63	1,089	4.24	0.59
10	861	4.15	0.32	782	4.20	0.36	1,129	3.97	0.37	1,089	4.08	0.35
11	861	4.21	0.32	782	4.27	0.34	1,132	4.11	0.46	1,090	4.33	0.37
12	624	4.41	0.34	478	4.43	0.32	632	4.27	0.48	567	4.45	0.25
13	858	3.21	0.31	777	3.24	0.30	1,140	3.29	0.44	1,089	3.11	0.21
14	860	3.52	0.37	780	3.51	0.36	1,140	3.48	0.43	1,090	3.41	0.40

<こども保育・教育専攻>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目 番号	令和4(2022)年度						令和5(2023)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	2,899	4.45	0.35	2,475	4.56	0.35	3,184	4.34	0.39	3,293	4.49	0.29
2	2,900	4.57	0.27	2,475	4.64	0.25	3,214	4.53	0.31	3,291	4.58	0.24
3	2,897	4.18	0.46	2,477	4.41	0.37	3,199	4.10	0.54	3,292	4.34	0.34
4	2,900	4.39	0.34	2,477	4.52	0.32	3,215	4.38	0.31	3,290	4.50	0.27
5	2,901	4.41	0.45	2,475	4.52	0.45	3,212	4.39	0.39	3,293	4.52	0.35
6	2,899	4.36	0.43	2,475	4.49	0.42	3,203	4.30	0.47	3,292	4.50	0.32
7	2,846	4.34	0.41	2,449	4.48	0.39	3,120	4.27	0.38	3,261	4.46	0.27
8	2,899	4.34	0.39	2,476	4.43	0.42	3,208	4.34	0.38	3,289	4.47	0.31
9	2,901	4.11	0.56	2,476	4.25	0.50	3,195	4.09	0.54	3,289	4.32	0.38
10	2,900	4.20	0.34	2,475	4.30	0.34	3,197	4.12	0.33	3,288	4.21	0.31
11	2,901	4.21	0.34	2,476	4.35	0.34	3,204	4.15	0.38	3,290	4.34	0.26
12	1,761	4.47	0.30	1,436	4.54	0.29	1,878	4.33	0.39	1,675	4.42	0.29
13	2,890	3.27	0.35	2,476	3.30	0.32	3,233	3.32	0.39	3,290	3.25	0.28
14	2,896	3.50	0.38	2,477	3.52	0.36	3,233	3.38	0.36	3,292	3.35	0.34

授業評価アンケート

<モチベーション行動科学部>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目 番号	令和4(2022)年度						令和5(2023)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	784	4.47	0.34	768	4.43	0.35	904	4.25	0.38	809	4.51	0.25
2	782	4.60	0.21	768	4.56	0.26	903	4.51	0.23	810	4.88	0.16
3	786	4.22	0.47	769	4.27	0.38	898	4.15	0.44	810	4.34	0.36
4	786	4.35	0.33	769	4.29	0.35	904	4.27	0.39	809	4.42	0.29
5	784	4.47	0.36	767	4.42	0.43	903	4.42	0.40	810	4.62	0.28
6	785	4.41	0.39	767	4.37	0.43	904	4.28	0.39	810	4.51	0.23
7	768	4.41	0.35	765	4.32	0.35	869	4.24	0.33	809	4.49	0.17
8	786	4.28	0.38	768	4.21	0.37	901	4.14	0.36	810	4.35	0.26
9	787	4.14	0.51	768	4.03	0.52	901	3.95	0.55	810	4.25	0.33
10	785	4.00	0.36	768	3.80	0.43	898	3.62	0.36	809	3.88	0.32
11	783	4.15	0.38	769	4.09	0.39	901	3.88	0.35	809	4.08	0.32
12	479	4.27	0.40	465	4.24	0.37	520	4.13	0.36	475	4.27	0.25
13	785	3.24	0.39	769	3.23	0.33	905	3.19	0.33	810	3.13	0.20
14	787	3.57	0.37	769	3.57	0.36	905	3.46	0.37	810	3.39	0.42

【通信教育課程】授業評価アンケート

カテゴリ	質問項目	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
テキスト 科目	1.授業に用いられたテキストや学習の手引きは、適切な内容で分かり易かったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2.担当教員による科目に関する指示や指導は分かりやすく、適切だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	3.担当教員は、学生の質問に適切に答えてくれたと思いますか。	5	4	3	2	1
	4.あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	5.あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
難易度	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	6.授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1
スクーリ ング科目 (対面授 業)	1.準備されていた配付資料や、ビデオ、スライドなどは十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2.授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	3.質問をしたり、発表・ディスカッションをしたりする機会は十分にあったと思いますか。	5	4	3	2	1
	4.課題が提示されるなど、自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
	5.担当教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	6.担当教員は、熱意をもって授業をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	7.担当教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	8.担当教員は、私語への注意など、学びやすい雰囲気を保つように努めていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	9.あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	10.あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
難易度	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	11.授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1
スクーリ ング科目 (メディア 授業)	1.準備されていた配付資料や、ビデオ、スライドなどは十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2.授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	3.興味の持てる授業になるよう授業構成（組み立て、時間配分等）が工夫されていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	4.課題が提示されるなど、自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
	5.発表・ディスカッションをする機会が設けられている等、掲示板は発言しやすい雰囲気でしたか。	5	4	3	2	1
	6.担当教員は、学生の質問に適切に答えてくれたと思いますか。	5	4	3	2	1
	7.担当教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	8.担当教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	9.担当教員からのお知らせは適切な時期に出されていましたか。	5	4	3	2	1
	10.あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	11.あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
難易度	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	12.授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1

【通信教育課程】授業評価アンケート

カテゴリ	質問項目	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
テキスト スクー リング科目	1.授業に用いられたテキストや学習の手引きは、適切な内容で分かり易かったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2.担当教員による科目についての指示や指導は分かりやすく、適切だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	3.担当教員は、学生の質問に適切に答えてくれたと思いますか。	5	4	3	2	1
	4.準備されていた配付資料や、ビデオ、スライドなどは十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	5.授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	6.質問をしたり、発表・ディスカッションをしたりする機会は十分にあったと思いますか。	5	4	3	2	1
	7.課題が提示されるなど、自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
	8.担当教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	9.担当教員は、熱意をもって授業をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	10.担当教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	11.担当教員は、私語への注意など、学びやすい雰囲気を保つように努めていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	12.あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	13.あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
難易度	14.授業の難しさ・易しさはどうか。	5	3	3	1	1

	質問項目	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度		令和5(2023)年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
テキスト科目	1	4.22	4.22	4.27	4.30	4.27	4.306	4.246	4.262	4.295	
	2	4.20	4.23	4.27	4.30	4.28	4.260	4.225	4.264	4.286	
	3	4.14	4.10	4.22	4.24	4.29	4.213	4.175	4.208	4.199	
	4	4.25	4.27	4.31	4.36	4.31	4.329	4.285	4.280	4.313	
	5	4.07	4.13	4.12	4.19	4.14	4.132	4.101	4.141	4.135	
	難易度	6	3.61	3.46	3.40	3.42	3.37	3.414	3.369	3.458	3.419
スクー リング科目 (対面授業)	1	4.62	4.61	4.25	4.46	4.44	4.511	4.455	4.604	4.494	
	2	4.72	4.68	4.49	4.59	4.62	4.816	4.540	4.608	4.709	
	3	4.69	4.59	4.02	4.10	4.23	4.621	4.451	4.606	4.614	
	4	4.76	4.74	4.58	4.66	4.65	4.830	4.630	4.667	4.689	
	5	4.75	4.67	4.31	4.69	4.61	4.705	4.461	4.657	4.689	
	6	4.84	4.78	4.49	4.69	4.61	4.727	4.667	4.771	4.797	
	7	4.75	4.70	4.43	4.58	4.54	4.557	4.552	4.645	4.681	
	8	4.73	4.67	4.41	4.45	4.46	4.694	4.503	4.675	4.709	
	9	4.67	4.66	4.29	4.49	4.47	4.636	4.444	4.524	4.534	
	10	4.59	4.58	4.19	4.45	4.42	4.602	4.368	4.500	4.490	
難易度	11	4.04	3.97	3.78	3.95	3.94	3.455	3.872	3.687	3.616	

【通信教育課程】授業評価アンケート

	質問項目	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度		令和5(2023)年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
スクーリング科目 (メディア授業)	1	4.28	4.42	4.27	4.18	4.16	4.441	4.136	4.309	4.128	
	2	4.51	4.58	4.52	4.45	4.56	4.647	4.459	4.572	4.515	
	3	4.04	4.20	4.09	4.07	4.05	4.316	4.021	4.229	3.984	
	4	4.47	4.47	4.38	4.36	4.35	4.578	4.393	4.470	4.316	
	5	3.53	3.56	3.50	3.64	3.62	3.943	3.531	3.856	3.667	
	6	4.01	3.98	4.18	4.14	4.21	4.302	3.994	4.242	4.099	
	7	4.06	4.49	4.25	4.33	4.14	4.492	4.050	4.355	4.284	
	8	4.20	4.41	4.17	4.33	4.15	4.471	4.100	4.381	4.275	
	9	4.46	4.57	4.53	4.45	4.42	4.557	4.463	4.513	4.454	
	10	4.16	4.11	4.09	4.12	4.06	4.282	4.095	4.157	4.066	
	11	3.92	3.90	3.86	3.87	3.84	4.112	3.863	4.026	3.877	
	難易度	12	3.51	3.28	3.16	3.35	3.28	3.481	3.257	3.400	3.178
	質問項目	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度		令和5(2023)年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
テキストスクーリン グ科目	1	4.44	4.44	4.12	4.39	4.25	4.588	4.480	4.482	4.611	
	2	4.55	4.55	4.23	4.35	4.22	4.741	4.598	4.609	4.642	
	3	4.69	4.67	4.41	4.51	4.37	4.894	4.701	4.717	4.740	
	4	4.55	4.52	4.21	4.32	4.19	4.671	4.510	4.581	4.612	
	5	4.61	4.62	4.41	4.57	4.51	4.847	4.675	4.740	4.724	
	6	4.67	4.56	3.98	4.11	4.12	4.812	4.571	4.615	4.682	
	7	4.67	4.69	4.52	4.68	4.63	4.847	4.732	4.672	4.751	
	8	4.60	4.69	4.50	4.61	4.52	4.859	4.626	4.750	4.757	
	9	4.72	4.72	4.43	4.59	4.51	4.812	4.772	4.786	4.869	
	10	4.60	4.65	4.31	4.49	4.37	4.788	4.675	4.656	4.778	
	11	4.64	4.65	4.10	4.37	4.21	4.788	4.654	4.641	4.720	
	12	4.56	4.55	4.18	4.44	4.14	4.710	4.593	4.620	4.676	
	13	4.48	4.44	4.06	4.30	4.07	4.765	4.516	4.615	4.620	
	難易度	14	3.88	3.96	3.61	3.53	3.61	4.119	3.780	3.823	4.024

心理専攻「アドミッション・ポリシー調査」

アドミッション・ポリシー(AP)

以下の能力・資質を有する人を受け入れる。

○子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、人の心の仕組みや働きについて論理的に理解することに積極的である。

○多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。

○教育・保育・福祉機関をはじめとする学外の様々なボランティア活動を通して、人を取り巻く社会について理解するとともに、社会貢献などでの関わりに積極的である。

○上記を実現するにふさわしい学力・知力、そして豊かな発想力を備えている。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 人の心の仕組みや働きについて論理的に理解することができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 互いに尊重しあう対人関係の構築と円滑なコミュニケーションを行うことができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 様々なボランティア活動を通して、社会貢献などに関わることができる。	6	5	4	3	2	1
(4) 上記を実現するにふさわしい学力・知力、豊かな発想力を備えている。	6	5	4	3	2	1
(5) 大学及びこども心理学部の教育目標を理解している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)論理的に理解する。	4.45	91.2%	8.8%	4.22	78.3%	21.7%	4.45	84.8%	15.2%
(2)円滑なコミュニケーション	4.71	94.2%	5.8%	4.56	86.4%	13.6%	4.72	89.2%	10.8%
(3)社会貢献に関わる	3.72	73.2%	26.8%	3.92	64.1%	35.9%	4.07	70.0%	30.0%
(4)学力、知力、豊かな発想力	4.08	82.9%	17.1%	3.91	67.2%	32.8%	4.21	78.7%	21.3%
(5)教育目標を理解	4.36	88.2%	11.8%	4.10	68.2%	31.8%	4.42	83.4%	16.6%

こども保育・教育専攻「アドミッション・ポリシー調査」

アドミッション・ポリシー(AP)

以下の能力・資質を有する人を受け入れる。

- 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。
- 自分の考えを適切に表現し、他者理解を持って人間関係を構築することができる。
- 心身ともに健康であり、積極的に行動できる。
- 未来に希望を持ち、子どもや保育・教育に関心を持っている。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 大学の学びの基礎となる学力を有している。	6	5	4	3	2	1
(2) 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 自分の考えを適切に表現し、他者理解を持って人間関係を構築することができる。	6	5	4	3	2	1
(4) 心身ともに健康であり、積極的に行動できる。	6	5	4	3	2	1
(5) 未来に希望を持ち、子どもや保育・教育に関心を持っている。	6	5	4	3	2	1
(6) 大学及びこども心理学部の教育目標を理解している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)基礎学力を有している。	4.34	87.2%	12.8%	4.13	73.7%	26.3%	4.27	78.4%	21.6%
(2)経験や知識と関連付けて学ぶ。	4.62	93.0%	7.0%	4.39	82.1%	17.9%	4.53	83.8%	16.2%
(3)人間関係の構築。	4.72	93.8%	6.2%	4.47	81.8%	18.2%	4.56	84.3%	15.7%
(4)積極的に行動できる。	4.50	88.9%	11.1%	4.36	77.6%	22.4%	4.44	80.0%	20.0%
(5)保育・教育に関心を持つ。	4.87	93.4%	6.6%	4.67	84.2%	15.8%	4.73	85.6%	14.4%
(6)教育目標を理解している。	4.38	85.8%	14.2%	4.20	75.4%	24.6%	4.28	76.5%	23.5%

モチベーション行動科学部「アドミッション・ポリシー調査」

アドミッション・ポリシー(AP)

大学及びモチベーション行動科学部の教育目標を理解し、その目標実現のために、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化させる可能性を持つ学生の入学を期待する。そして、様々な経験を通して得られる人間力を高めていくことのできる学生、豊かな個性・経験・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の選抜を行う。

- 高等学校での教育課程を幅広く修得している。
- モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。
- 豊かな発想力をもち、主体的に考え行動することができる。
- 人とよく関わることのできる対人関係能力・技能をもっている。
- 困難や課題を乗り越えた経験をもっている。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思 ない	全く 思 わ ない
(1) 高等学校での教育課程を幅広く修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。	6	5	4	3	2	1
(3) 豊かな発想力をもち、主体的に考え行動することができる。	6	5	4	3	2	1
(4) 人とよく関わることのできる対人関係能力・技能をもっている。	6	5	4	3	2	1
(5) 困難や課題を乗り越えた経験をもっている。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)高等学校の教育課程の修得。	3.94	77.0%	23.0%	3.87	64.7%	35.3%	3.99	68.3%	31.7%
(2)モチベ学部で学ぶ強い意欲。	4.50	90.0%	10.0%	4.20	74.3%	25.7%	4.34	78.9%	21.1%
(3)主体的行動力。	4.35	84.3%	15.7%	4.09	70.1%	29.9%	4.22	76.4%	23.6%
(4)対人関係能力・技能の保持。	4.32	87.5%	12.5%	4.32	75.4%	24.6%	4.25	77.4%	22.6%
(5)困難、課題解決の経験。	4.43	85.8%	14.2%	4.19	71.9%	28.1%	4.47	80.4%	19.6%

【通信教育課程】

こども心理学部「アドミッション・ポリシー調査」

アドミッション・ポリシー(AP)

大学及びこども心理学部の教育目標を理解して学びを深め、積極的に人と関わり円滑な対人関係を構築することのできる人間力を持つ学生の入学を期待する。そのためには、常に学修への高い意欲を保持し、こども心理学部の教育及び将来の社会の要請に応える力を身につける積極性が求められる。ついては、大学内外における様々な活動やボランティア経験及び様々な個性・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。

○様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。

○自分の考えを適切に表現し、他者理解をもって人間関係を構築することができる。

○子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、心理学的観点からもその背景やプロセスについて論理的に理解することに積極的である。

○多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思 ない	全く 思 わ ない
(1) 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 自分の考えを適切に表現し、他者理解をもって人間関係を構築することができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、心理学的観点からもその背景やプロセスについて論理的に理解することに積極的である。	6	5	4	3	2	1
(4) 多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)経験と知識を関連付けて学ぶ。	5.29	97.4%	2.6%	5.23	99.3%	0.7%	5.09	96.9%	3.1%
(2)他者を理解して人間関係構築。	4.85	92.1%	7.9%	4.83	95.3%	4.7%	4.62	89.4%	10.6%
(3)論理的に理解する。	5.16	97.4%	2.6%	5.18	96.7%	3.3%	4.84	92.0%	8.0%
(4)円滑なコミュニケーション	4.65	84.7%	15.3%	4.76	88.7%	11.3%	4.68	88.5%	11.5%

【通信教育課程】

モチベーション行動科学部「アドミッション・ポリシー調査」

アドミッション・ポリシー(AP)

大学及びモチベーション行動科学部の教育目標を学び・理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化させる可能性を持つ学生の入学を期待する。そして、様々な経験を通して得られる人間力を高めていくことのできる学生、豊かな個性・経験・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。

○モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。

○豊かな発想力で主体的に考え行動することができる。

○企業人や公務員、各種法人職員等として活躍しながら、モチベーションについて学ぶことにより、組織貢献を希望している。

○社会の一線を退き、家庭や地域コミュニティの中で生きつつ、その対人関係及びコミュニケーションの円滑化や活力の向上を求めて、学びに興味をもっている。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。	6	5	4	3	2	1
(2) 豊かな発想力をもち、主体的に考え行動することができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 企業人や公務員、各種法人職員等として活躍しながら、モチベーションについて学ぶことにより、組織貢献を希望している。	6	5	4	3	2	1
(4) 社会の一線を退き、家庭や地域コミュニティの中で生きつつ、その対人関係及びコミュニケーションの円滑化や活力の向上を求めて、学びに興味をもっている。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)モチベ学部で学ぶ意欲。	5.58	100.0%	0.0%	5.45	100.0%	0.0%	5.36	95.6%	4.4%
(2)主体的に考え行動する。	5.13	93.8%	6.3%	4.96	94.4%	5.6%	4.58	82.2%	17.8%
(3)モチベを学び組織貢献する。	5.29	93.8%	6.3%	4.90	90.1%	9.9%	4.76	86.7%	13.3%
(4)学びに興味	4.92	85.4%	14.6%	4.72	81.7%	18.3%	3.84	64.4%	35.6%

心理専攻「教育の目的」調査

教育の目的

幅広い教養とキャリア教育を前提とし、子どもを中心としたあらゆる年代を対象とした心理学の基礎的概念を修得し、心理学の理論や方法論に依拠した科学者－実践家モデルを基盤としながら、人の健全な発達・学びを促すための理論的理解と実践力を養い、併せて課程外における活動を通して「高度な専門的知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った人材を養成する。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 心理学の基礎的概念を修得した。	6	5	4	3	2	1
(2) 高度な専門的知識が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 高度な専門的技能(実践力)が身についた。	6	5	4	3	2	1
(4) 豊かな心を育んだ。	6	5	4	3	2	1
(5) キャリア教育を受け、将来のキャリアに対する意欲を高めた。	6	5	4	3	2	1
(6) 社会で役立つ教養が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)心理学の基礎概念を修得。	4.55	94.7%	5.3%	4.46	83.3%	16.7%	4.63	90.1%	9.9%
(2)専門的な知識が身についた。	4.04	82.9%	17.1%	3.92	69.2%	30.8%	4.11	77.8%	22.2%
(3)高度な専門的技能が身に付いた	3.53	66.6%	33.4%	3.53	54.0%	46.0%	3.69	57.1%	42.9%
(4)豊かな心を育んだ	4.72	94.5%	5.5%	4.58	85.9%	14.1%	4.71	86.6%	13.4%
(5)キャリアに対する意欲を高めた	4.39	90.7%	9.3%	4.22	75.3%	24.7%	4.45	82.5%	17.5%
(6)役立つ教養を身につけた	4.61	93.1%	6.9%	4.41	82.8%	17.2%	4.63	86.9%	13.1%

こども保育・教育専攻「教育の目的」調査

の目的

幅広い教養とキャリア教育を前提とし、未来を担う子どもたちの健全な発達・学びを促すために必要となる、子どもの保育学的・教育学的な理解に根ざした「高度な専門的知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った人材を養成する。講義や演習及び実習さらには課程外における活動を通して理論的な理解力と実践力を併せ持った保育者・教育者を養成する。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 高度な専門的知識(理解力)が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 高度な専門的技術(実践力)が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 豊かな心を育んだ。	6	5	4	3	2	1
(4) 幅広い教養が身についた。	6	5	4	3	2	1
(5) キャリア教育を学ぶことができた。	6	5	4	3	2	1
(6) 社会で役立つ教養が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)高度な専門的知識の修得	4.37	87.6%	12.4%	4.25	78.6%	21.4%	4.37	80.7%	19.3%
(2)高度な専門技術の修得	4.21	84.6%	15.4%	4.18	75.0%	25.0%	4.34	78.4%	21.6%
(3)豊かな心を育んだ	4.70	93.4%	6.6%	4.54	82.7%	17.3%	4.60	82.2%	17.8%
(4) 幅広い教養が身についた。	4.52	91.4%	8.6%	4.33	81.4%	18.6%	4.42	80.9%	19.1%
(5)キャリア教育を学べた。	4.50	87.9%	12.1%	4.26	79.1%	20.9%	4.37	79.0%	21.0%
(6)役立つ教養を身につけた	4.70	92.4%	7.6%	4.54	85.0%	15.0%	4.62	84.7%	15.3%

モチベーション行動科学部「教育の目的」調査

教育の目的

社会で必要とされる「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い関心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化することのできる人材を養成する。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(3) 広い関心と学びを促すモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(4) 所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる力を身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)貢献するモチベーション	4.23	85.4%	14.6%	3.99	68.9%	31.1%	4.28	78.9%	21.1%
(2)志向するモチベーション	4.61	93.6%	6.4%	4.53	85.6%	14.4%	4.58	83.9%	16.1%
(3)学びを促すモチベーション	4.58	93.4%	6.6%	4.36	81.4%	18.6%	4.53	84.9%	15.1%
(4)影響する力、活性化できる力	4.18	82.3%	17.7%	4.07	74.9%	25.1%	4.38	78.9%	21.1%

【通信教育課程】

こども心理学部「教育の目的」調査

教育の目的

幅広い教養を前提とし、本学の教育を通信の方法により提供することで、時間や場所、職業などにかかわらず、多くの人たちが学習できる機会を実現し、知識・技能及び人間性さらには意思決定能力を自ら磨き、もって生涯教育の拠点として地域・社会の発展に貢献する人材を養成する。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わ ない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 高度な専門的知識・技能が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 人間性を高め意思決定能力を磨くことができた。	6	5	4	3	2	1
(3) 地域・社会の発展に貢献できる教養が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1) 高度な専門知識・技能	4.73	93.7%	6.3%	4.97	98.2%	1.8%	4.65	88.1%	11.9%
(2) 意思決定能力	4.72	91.5%	8.5%	4.75	91.6%	8.4%	4.54	86.7%	13.3%
(3) 社会貢献する教養	4.41	79.4%	20.6%	4.56	87.6%	12.4%	4.43	84.5%	15.5%

【通信教育課程】

モチベーション行動科学部「教育の目的」調査

教育の目的

社会で必要とされる「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い関心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化することのできる人材を養成する。

<設問項目>

	とても 思う	そう 思う	少し 思う	あまり 思わない	そう 思わ ない	全く 思わ ない
(1) 組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(3) 広い関心と学びを促すモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(4) 所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる力が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1) 貢献するモチベーション	4.77	89.6%	10.4%	4.69	87.3%	12.7%	4.51	77.8%	22.2%
(2) 志向するモチベーション	4.94	87.5%	12.5%	4.86	94.4%	5.6%	4.53	84.4%	15.6%
(3) 学びを促すモチベーション	5.13	97.9%	2.1%	5.17	95.8%	4.2%	4.64	93.3%	6.7%
(4) 影響力と活性化できる力	4.92	95.8%	4.2%	4.59	85.9%	14.1%	4.44	82.2%	17.8%

2023年度学生生活実態調査・卒業時アンケート結果報告

調査概要

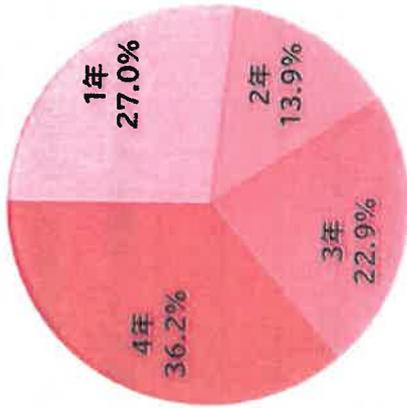
調査目的	学生生活実態調査（以下、本調査）は、東京未来大学（以下、本学）に在籍する学生（通信教育課程に在籍する学生を除く）の生活実態や満足度などを把握することで、学習環境の改善等、学生の多様なニーズに応えるための基礎資料を得ることを目的とする。
調査対象者	実施年度の3月1日現在で本学こども心理学部およびモチベーション行動科学部に在籍している全学生を対象とする。ただし、同日現在で休学している者および両学部の通信教育課程在籍の者は除く。 n=1027名
調査手法	質問紙調査（googleフォーム使用）
調査時期	2024年3月
調査実施機関	東京未来大学 学生生活委員会
調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none">・ nは回答者数を表している。・ 回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。・ 設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。 ※本報告書の資料データは本調査質問項目の抜粋版である。

回答者属性

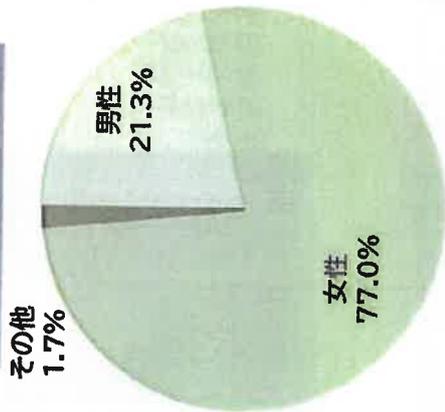
所属学部・専攻 (n=1027)



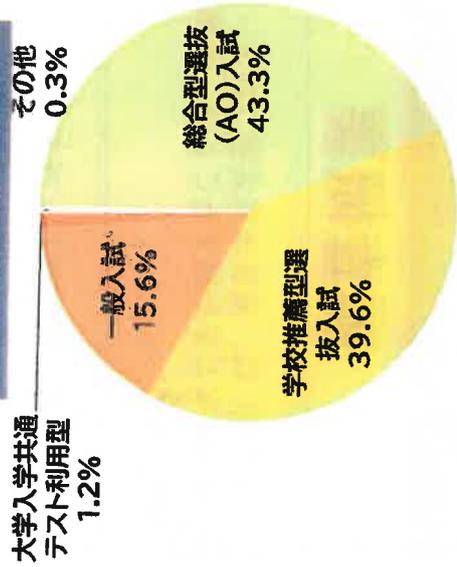
学年 (n=1027)



性別 (n=1027)



入学方式 (n=1027)



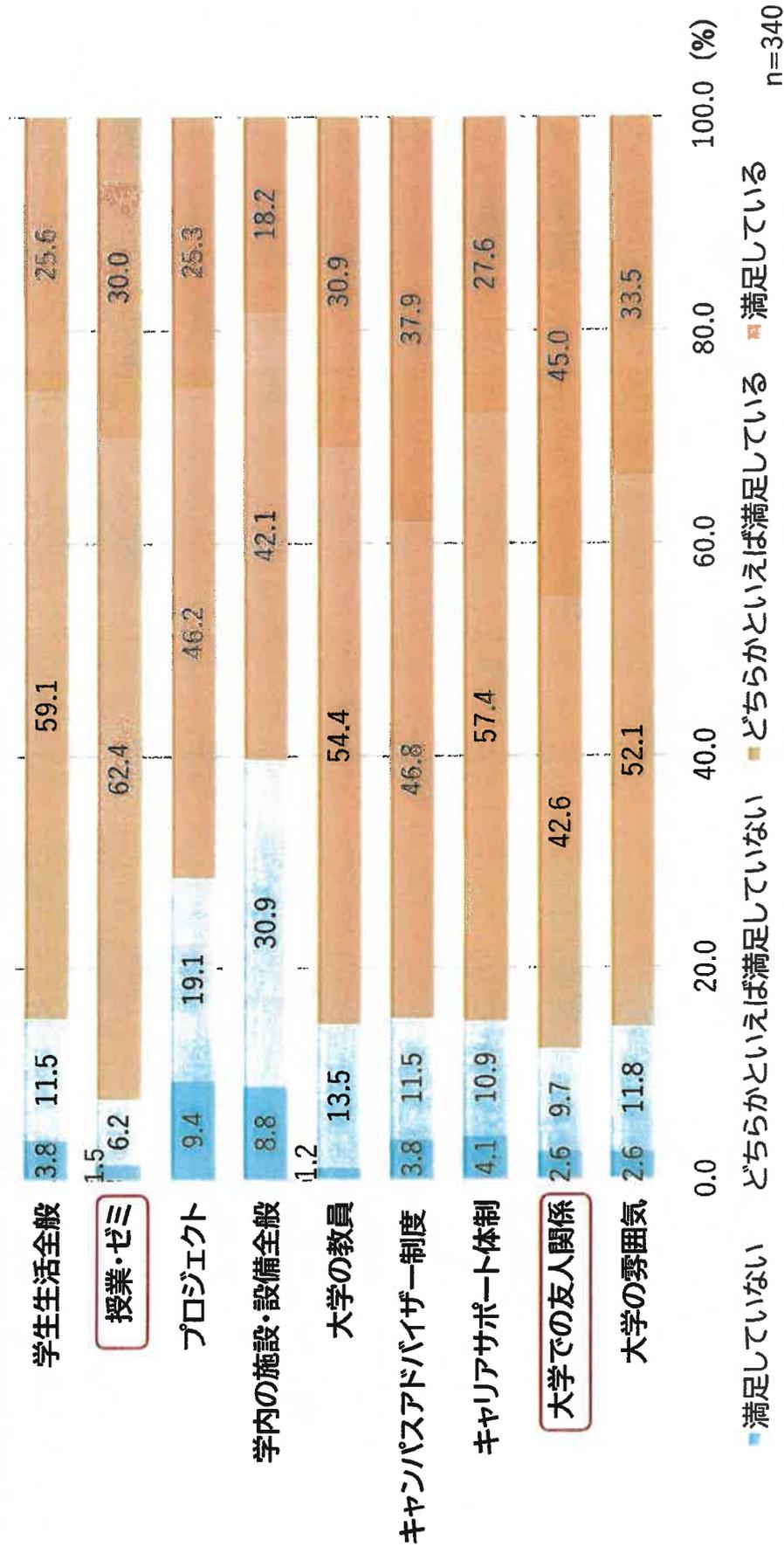
回答率

	在籍者数	回答者数	回答率 (%)
1年	396	277	69.9%
2年	369	143	38.8%
3年	366	235	64.2%
4年	391	372	95.1%
計	1522	1027	67.5%

回答者は、こども心理学部の心理専攻、及びこども保育・教育専攻、モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科に在籍する1～4年生であり、回答者数は合計1027名であった（回答率67.5%）。

※在籍者数は2023年10月時点の人数

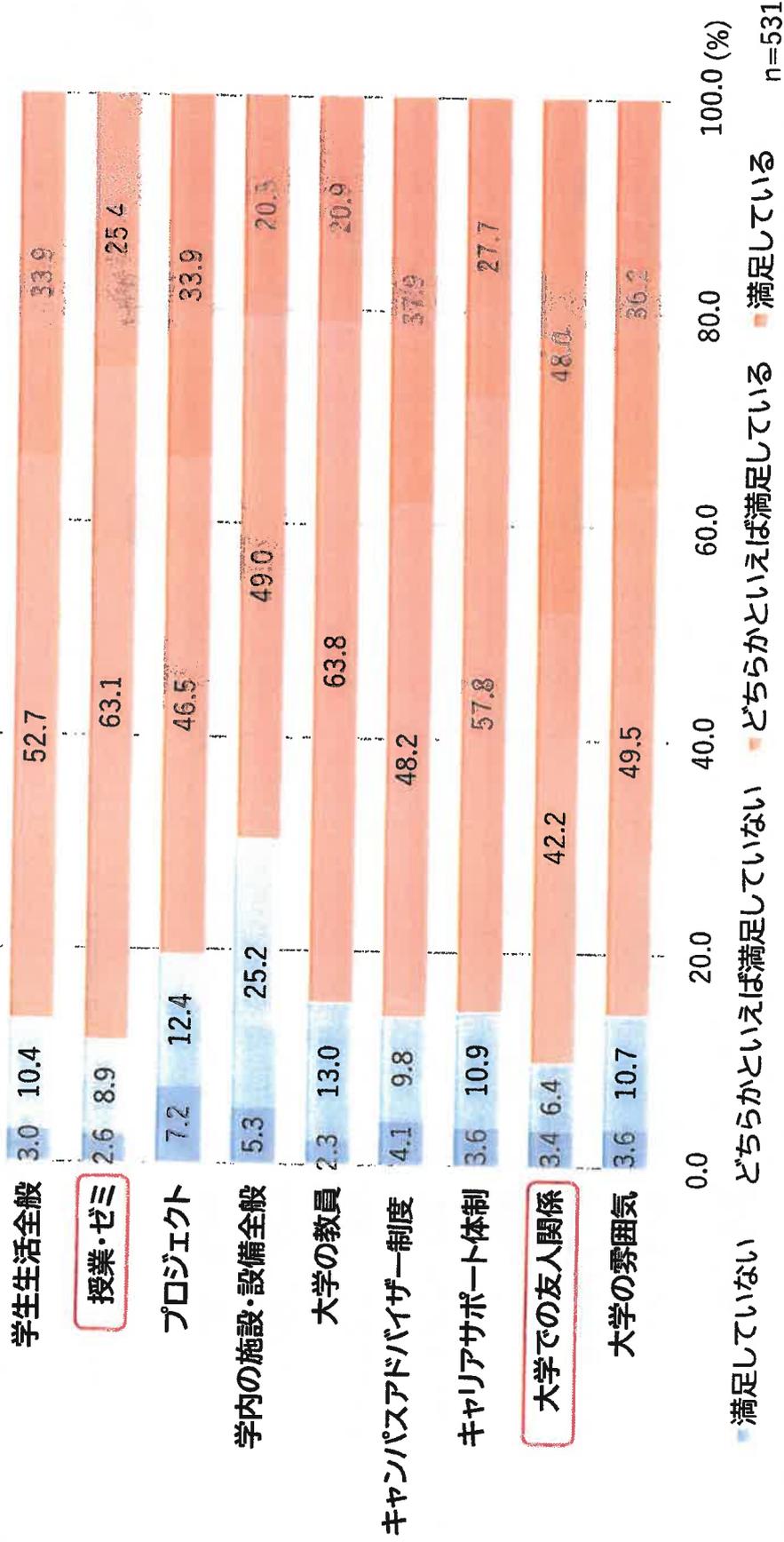
学生生活等に関する満足度（心理専攻）



問) 以下の下項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

- ・ 「授業・ゼミ」「大学での友人関係」他、各項目について、概ね満足（「満足している」「どちらかといえは満足している」の合計）していることが窺える。

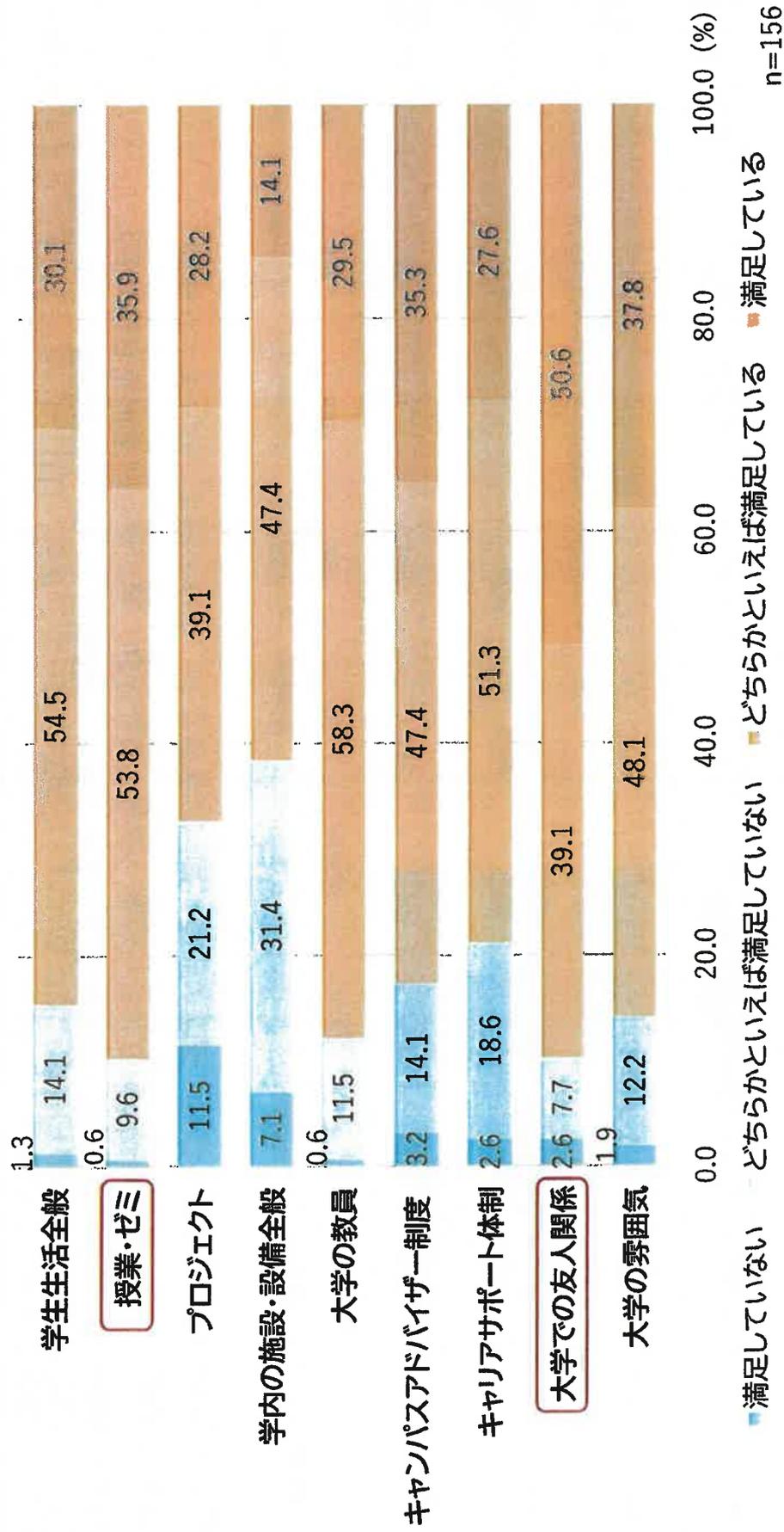
学生生活等に関する満足度（こども保育・教育専攻）



問) 以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

- ・ 「大学での友人関係」「授業・ゼミ」他、各項目について、概ね満足（「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計）していることが窺える。

学生生活等に関する満足度（モチベーション行動科学部）



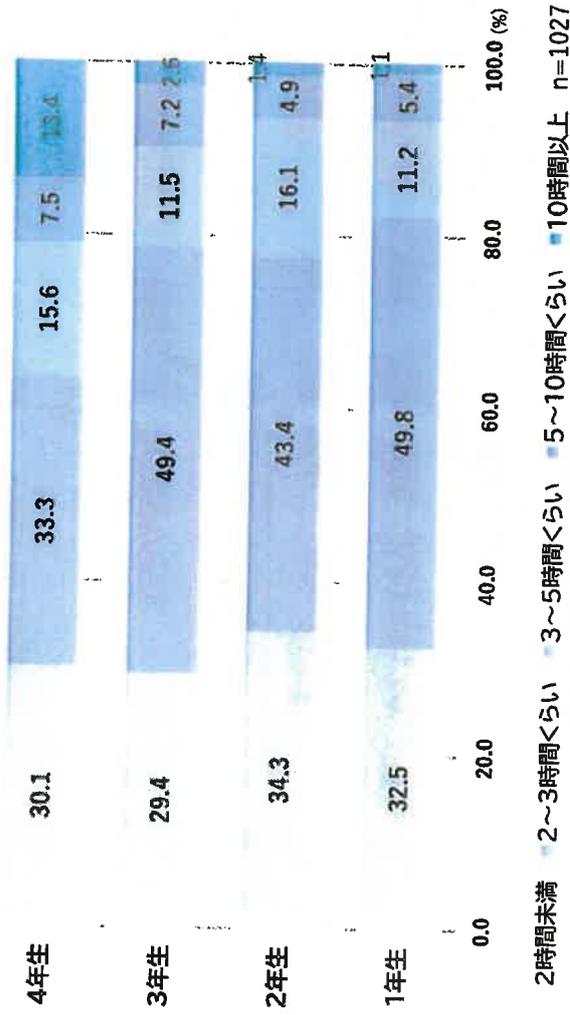
問) 以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

- ・ 「大学での友人関係」「授業・ゼミ」他、各項目について、概ね満足（「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計）していることが窺える。

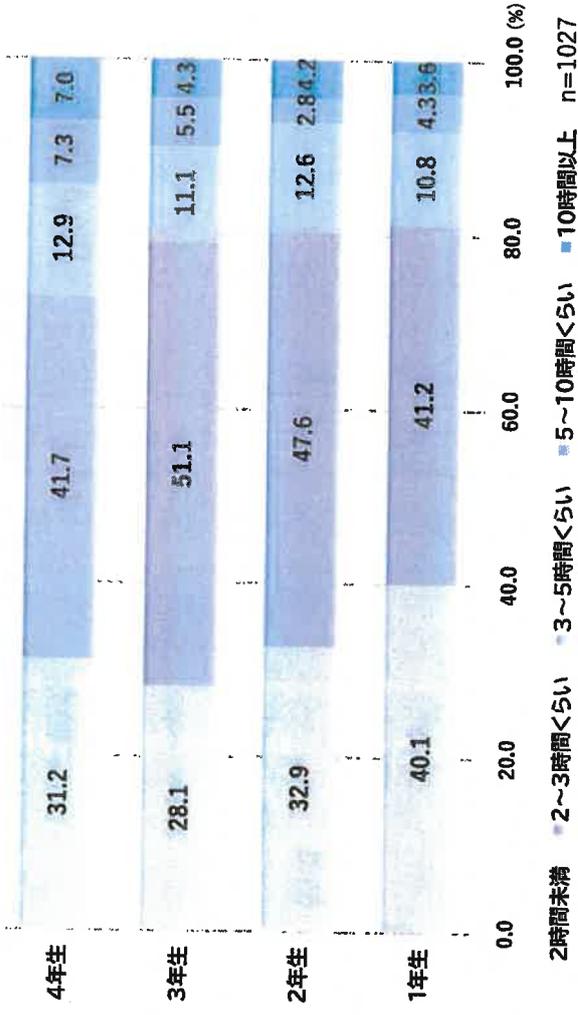
学修時間（履修科目関連、及び、教養や自己研鑽）

※一週間あたりの時間

(1)履修関連科目、卒論等



(2)教養、自己研鑽等

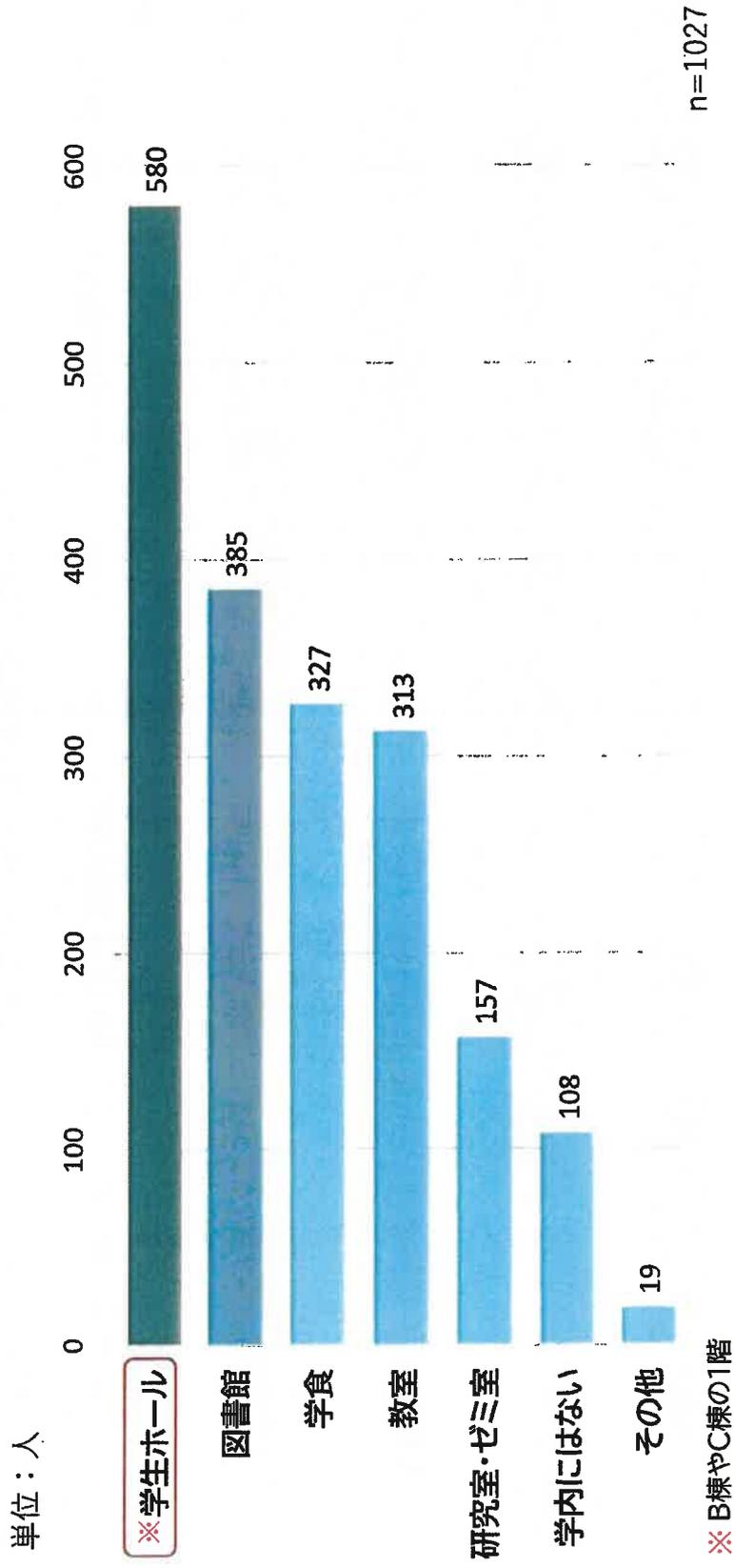


問(1) 履修科目に関する予習・復習、課題の実施、卒論の実施など、学びの探求に割り当てた時間

問(2) 教養を高めたり、自己研鑽に割り当てた時間（読書、芸術活動、習い事、時事情報収集など）

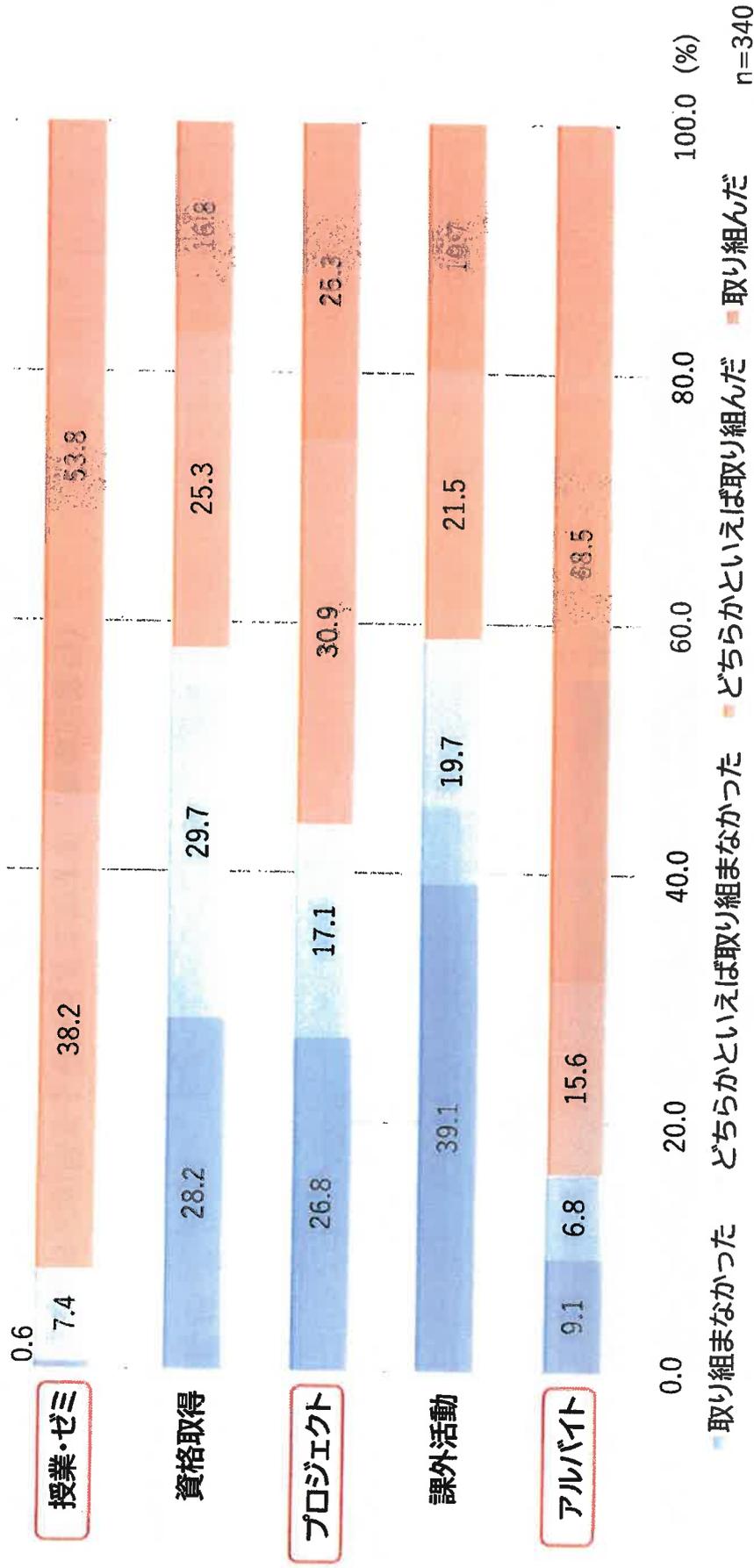
- (1)履修関連科目、卒論、(2)教養・自己研鑽等の項目ともに、2時間以下、2~3時間程度とした回答が多かったが、中には10時間以上の取り組みをしているといった回答もあった。また、(1)については4年生になると3時間以上とする回答が増えていた。

自習するときに利用する場所



- 問) 学内で自習するときに利用する場所はどこですか (複数回答可)。
- 最も多いのは「学生ホール」、次いで「図書館」「学食」「教室」と続く。

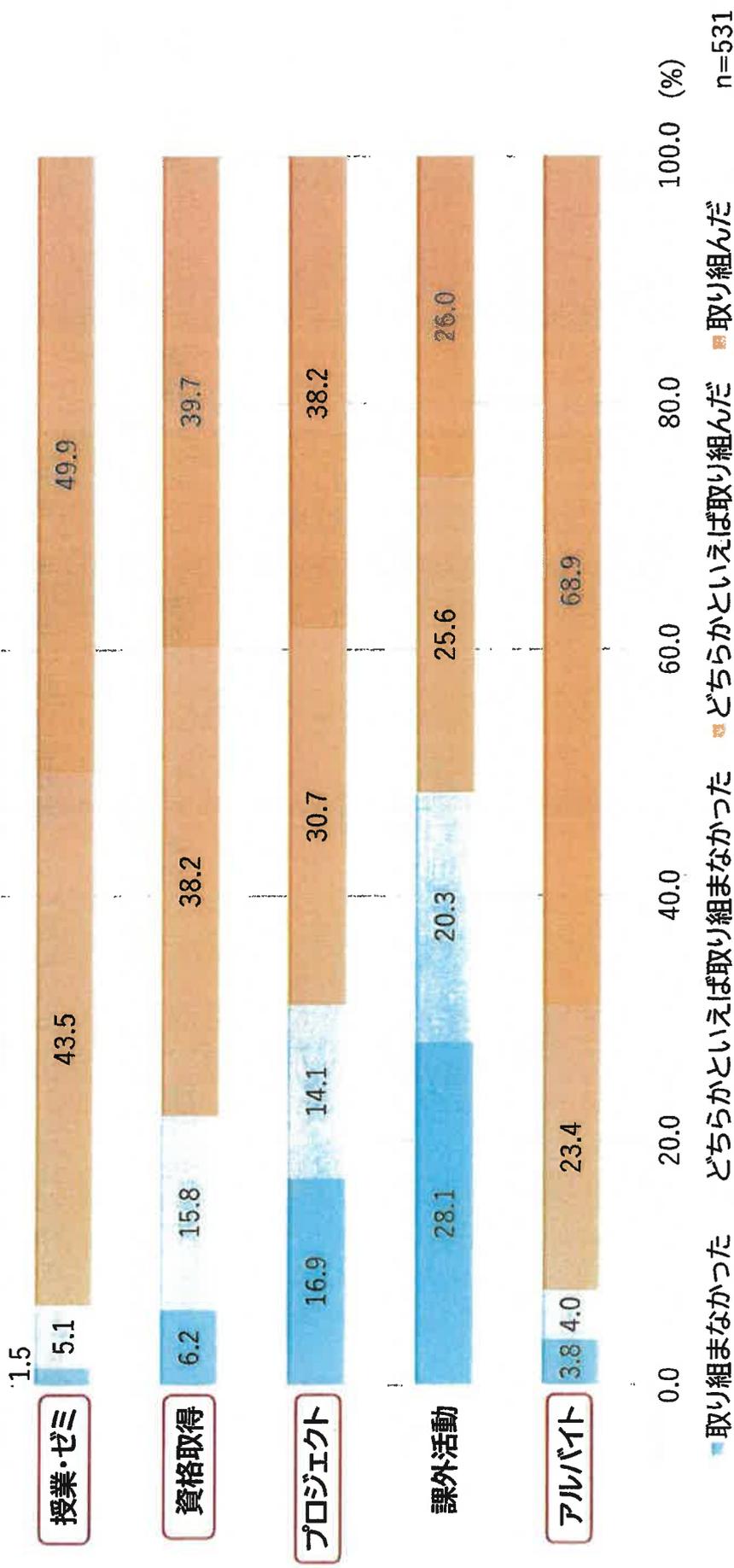
学生生活で積極的に取り組んだこと・程度（心理専攻）



問) この1年間、あなたは以下のことにどのくらい積極的に取り組みましたか。

- 授業やゼミ、アルバイト、学内のプロジェクト活動の順に力を入れて取り組んでいた（「どちらかといえば取り組んだ」「取り組んだ」の合計）。

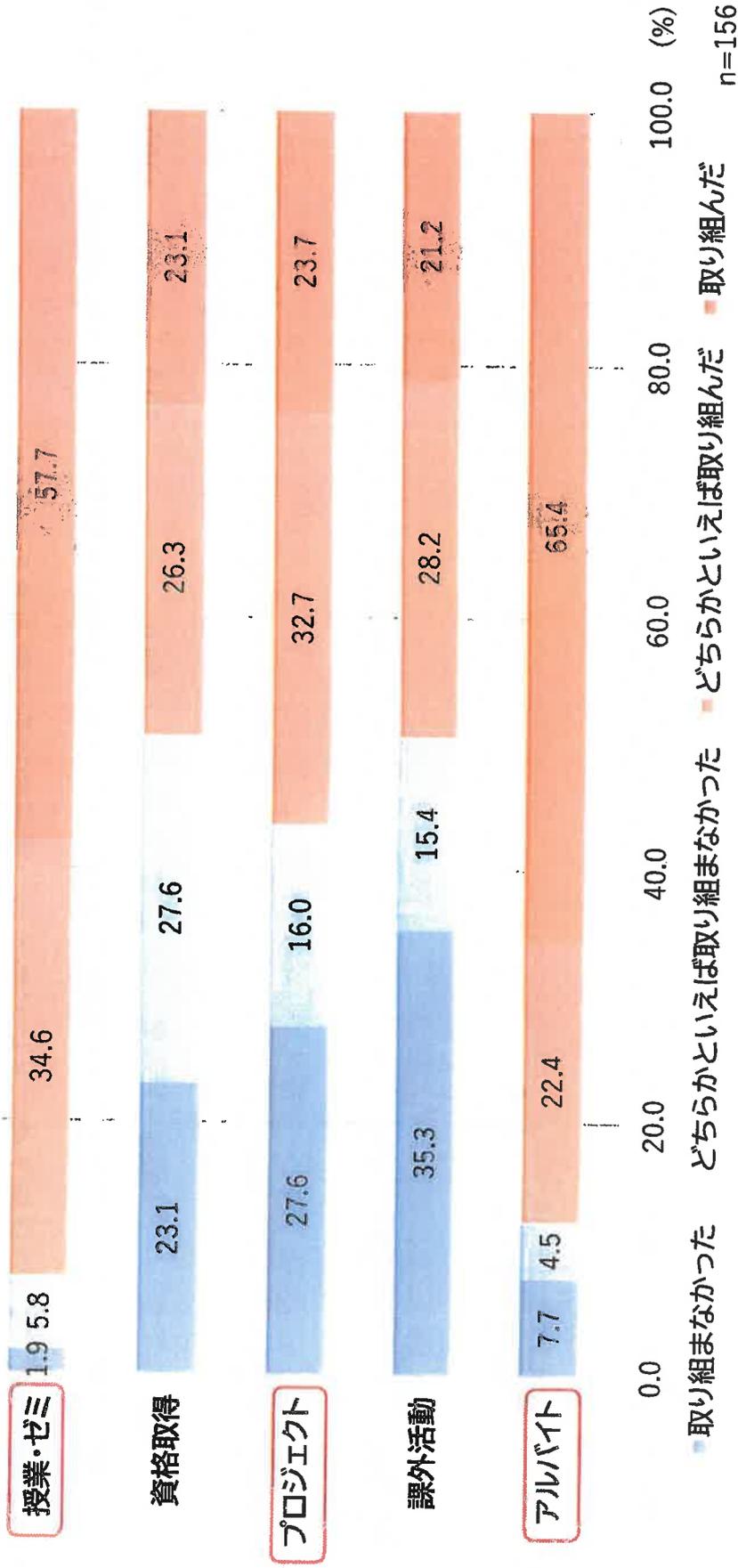
学生生活で積極的に取り組んだこと・程度（こども保育・教育専攻）



問) この1年間、あなたは以下のことによどのくらい積極的に取り組みましたか。

- 授業やゼミ、アルバイト、資格取得、学内のプロジェクト活動の順に力を入れて取り組んでいた（「どちらかといえば取り組んだ」「取り組んだ」の合計）。

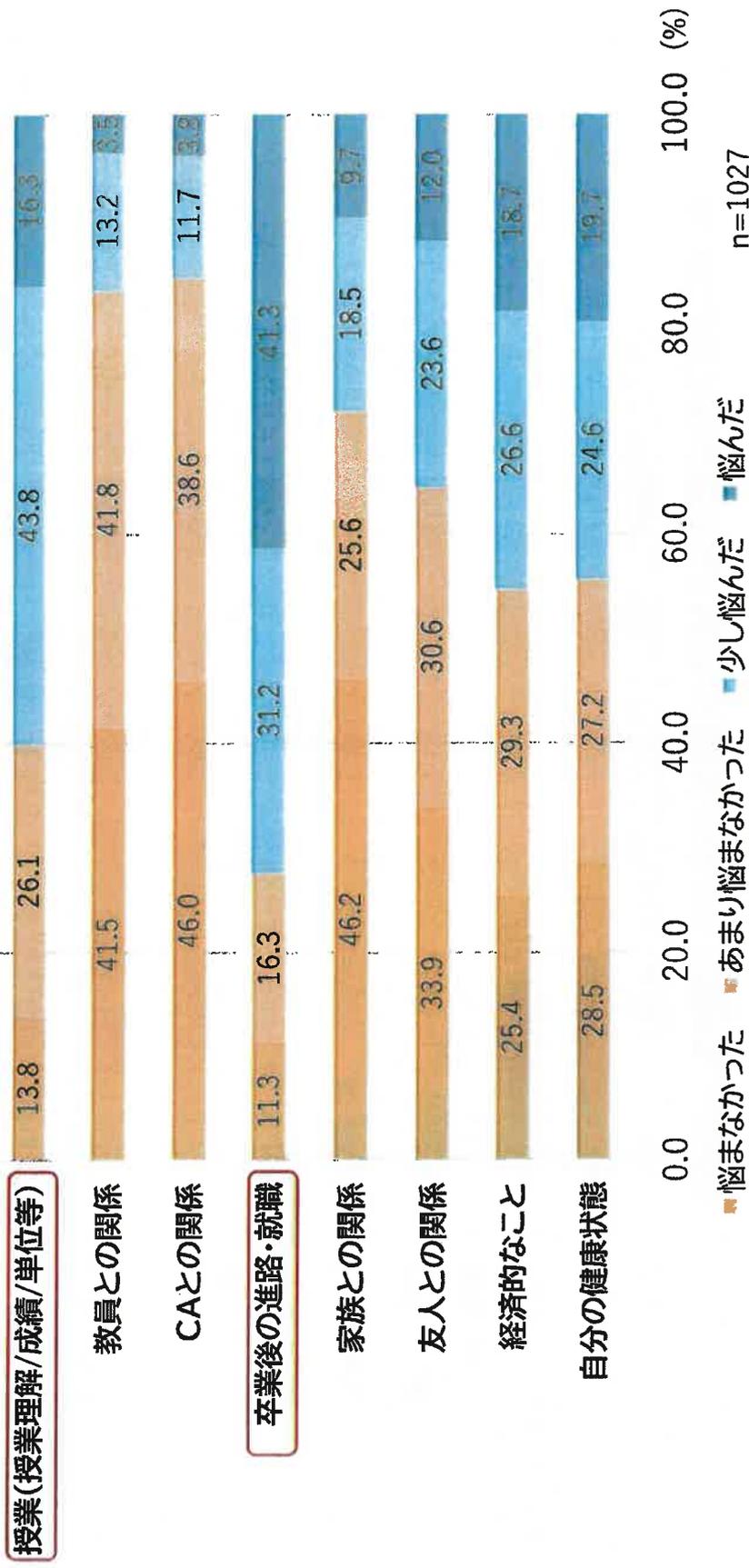
学生生活で積極的に取り組んだこと・程度（モチベーション行動科学部）



問) この1年間、あなたは以下のことにどのくらい積極的に取り組みましたか。

- 授業やゼミ、アルバイト、学内のプロジェクト活動の順に力を入れて取り組んでいた（「どちらからかといえば取り組んだ」「取り組んだ」の合計）。

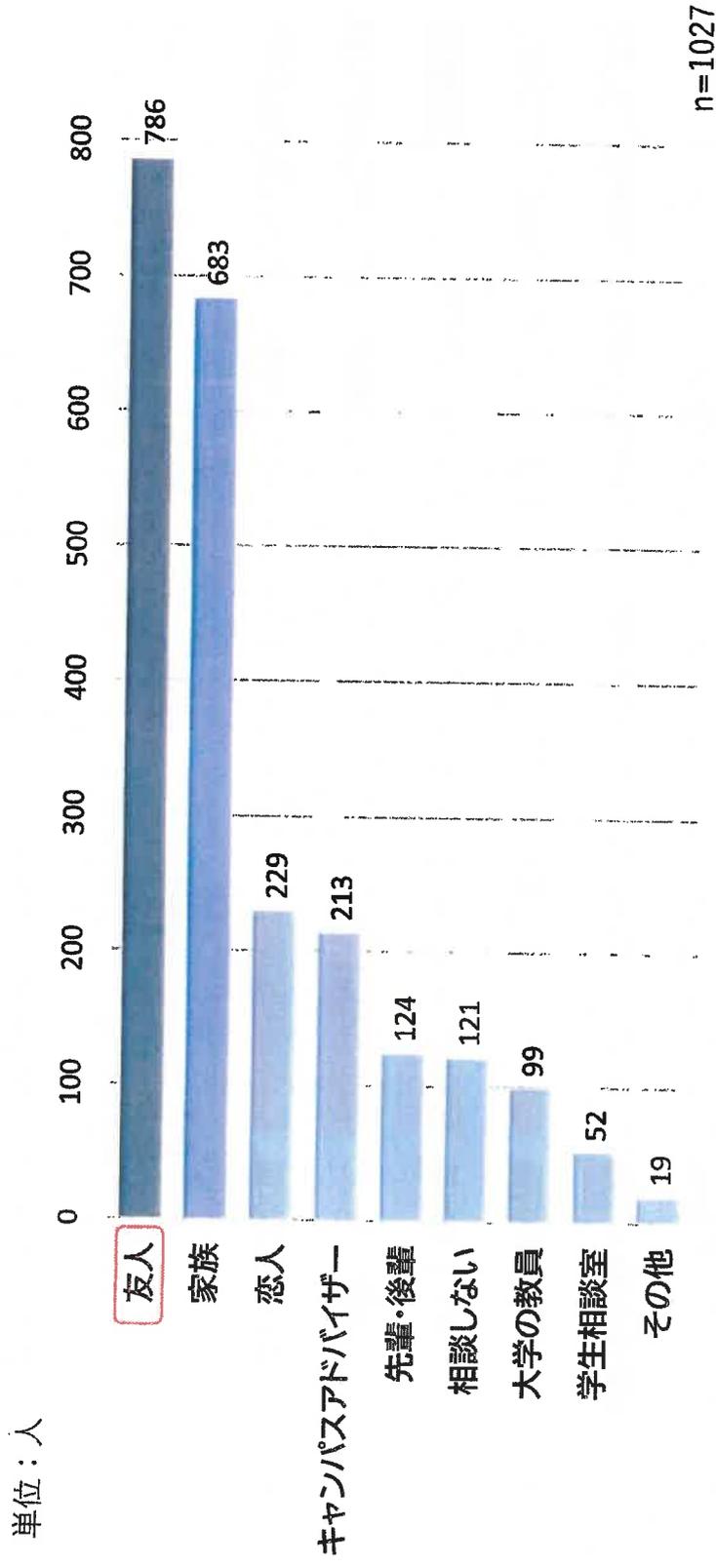
学生生活で悩んだこと・程度 (回答者全員)



問) 以下のことについて、この1年の中で悩むことはどのくらいありましたか。

- ・ 「卒業後の進路」や「授業の理解・成績・単位取得可否等」についての悩みが比較的多かった(「少し悩んだ」「悩んだ」の合計)。

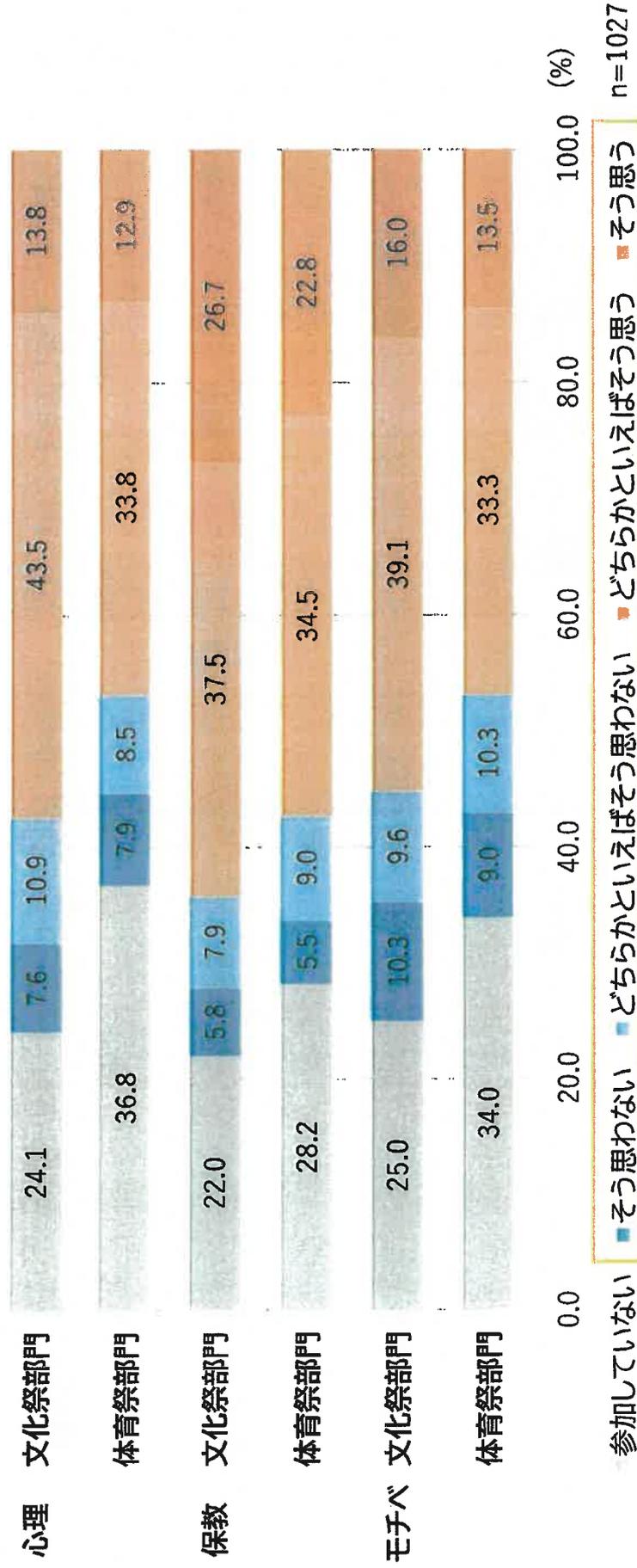
悩みの相談相手



問) 悩みごとがあるときに相談するのは誰ですか (複数回答可)。

- 悩みの相談相手について最も多いのは「友人」、次いで「家族」「恋人」「キャンパスアドバイザー」と続く。

学内行事への参加と成長

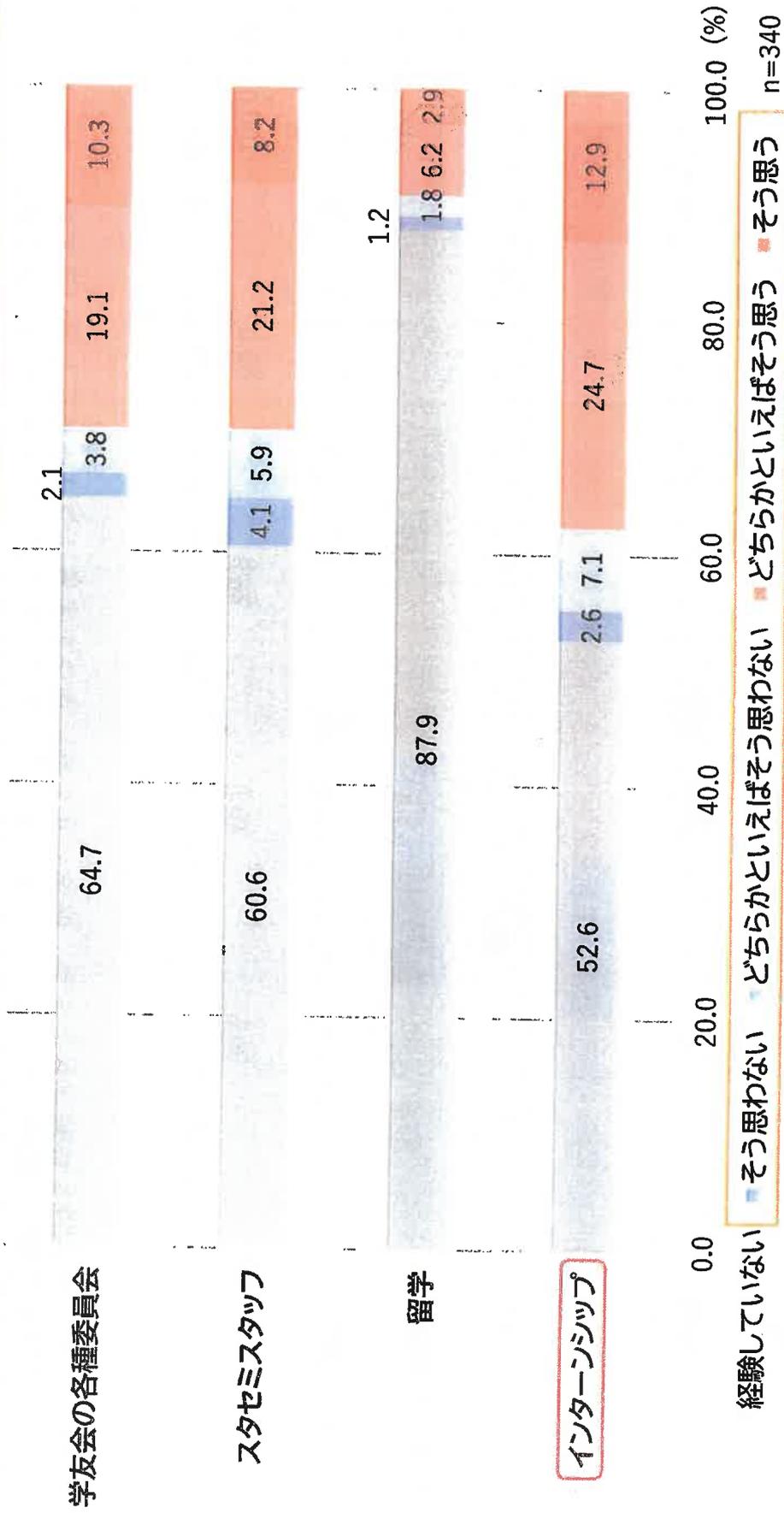


問) MIRAI FES.の文化祭部門を経験することで、社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。

問) MIRAI FES.の体育祭部門を経験することで、社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。

- ・ 行事と専攻により若干の差はあるものの、社会に出て役立つ力を身につけられたとする回答が約半数を占めていた。「参加していない」の回答は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学内行事が中止されたことを主な理由とする。

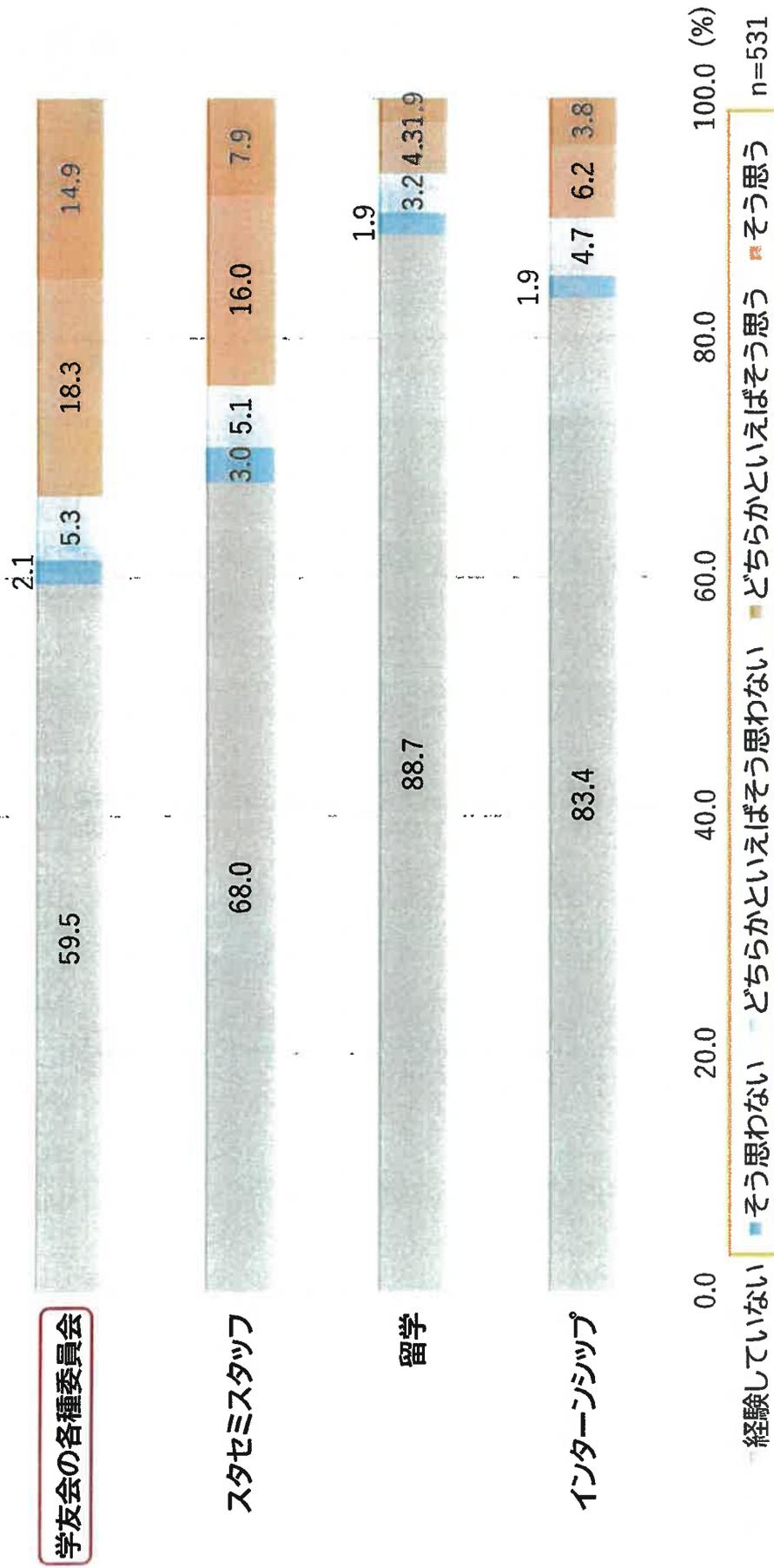
学内のプロジェクト活動を通じた身につけた社会に出て役立つ力（心理専攻）



問) 以下の各プロジェクト活動を通して社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。

- ・ 「インターンシップ」などへの参加により、社会に出て役立つ力を身につけたとの回答が比較的多かった。

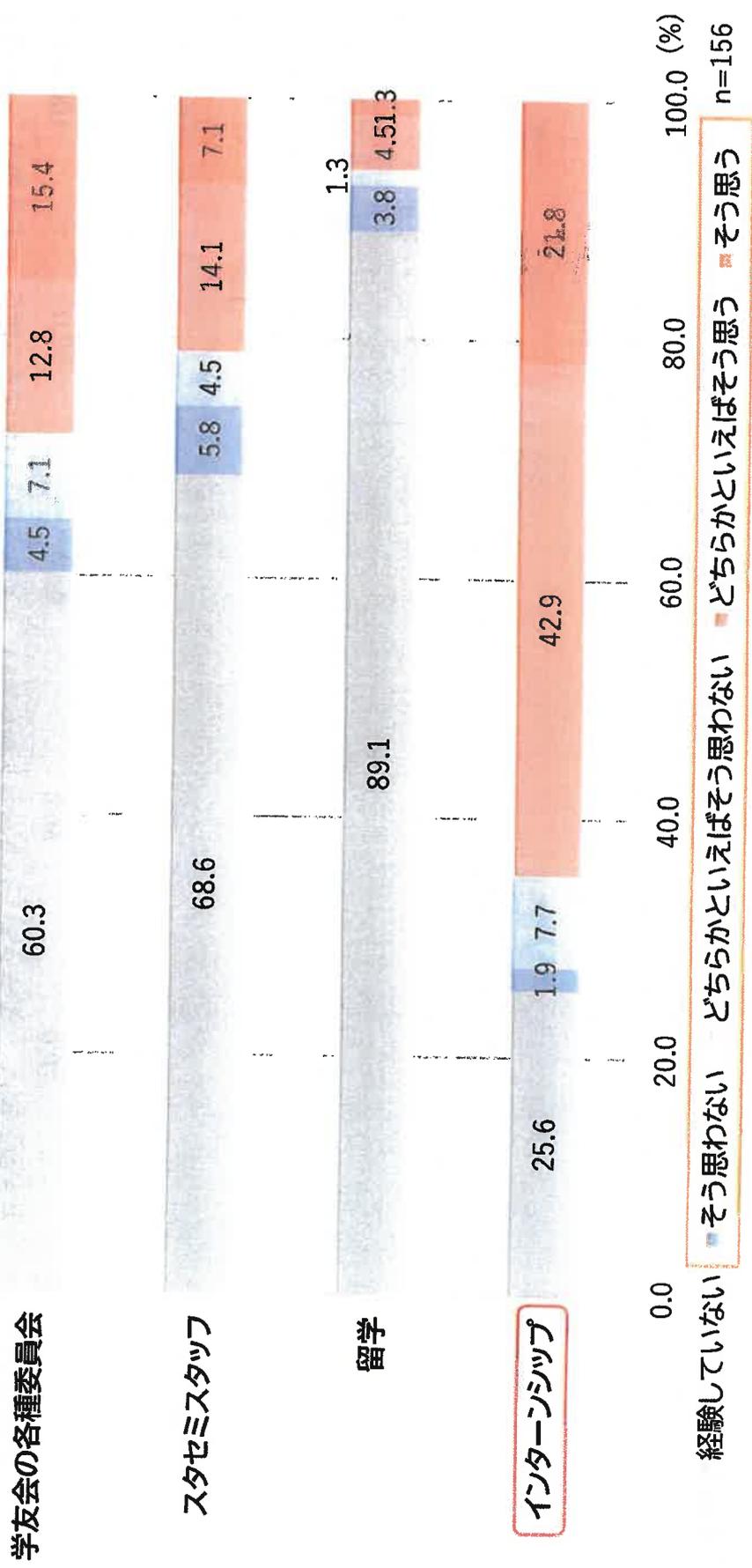
学内のプロジェクト活動を通じた身につけた社会に出て役立つ力（こども保育・教育専攻）



問) 以下の各プロジェクト活動を通して社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。

- 「学遊会の各種委員会」などへの参加により、社会に出て役立つ力を身につけたとの回答が比較的多かった。

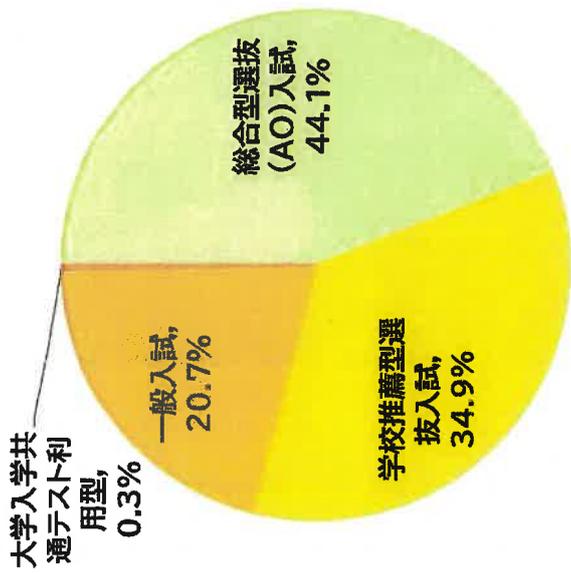
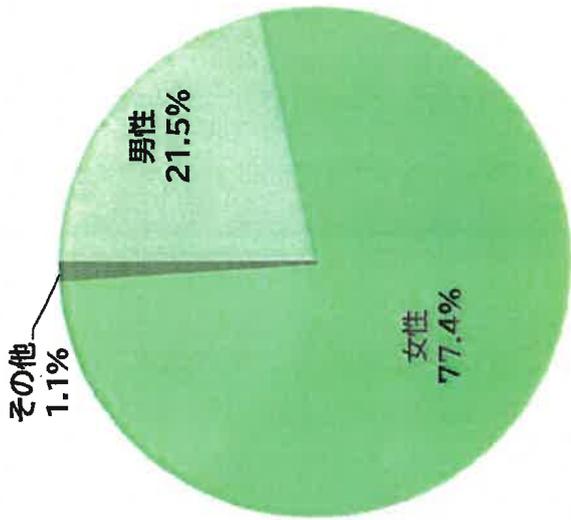
学内のプロジェクト活動を通じた身につけた社会に出て役立つ力 (モチベーション・シミュレーション行動科学部)



問) 以下の各プロジェクト活動を通して社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。

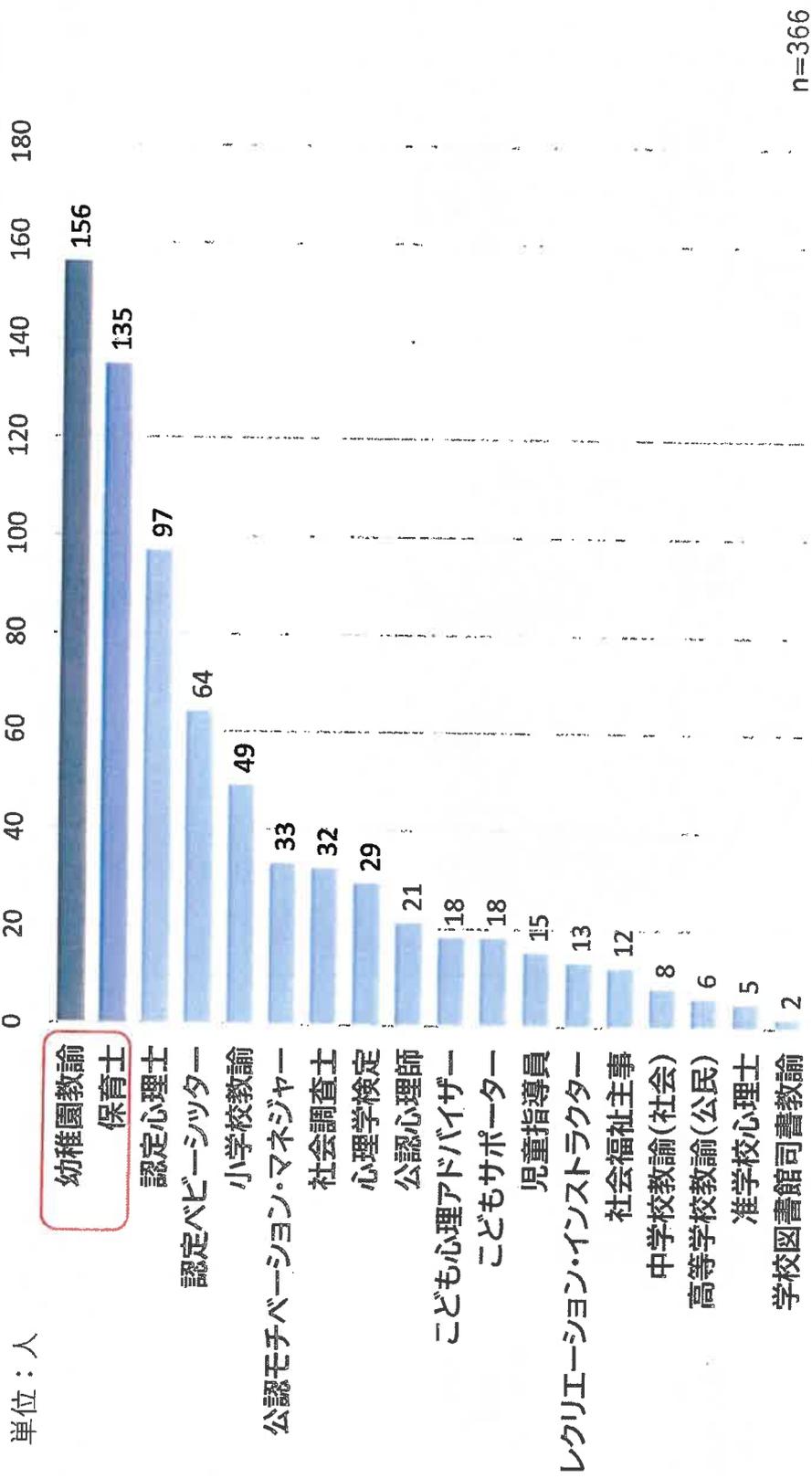
- ・ 「インターンシップ」などへの参加により、社会に出て役立つ力を身につけたとの回答が比較的多かった。

卒業時アンケート回答者属性



こども心理学部の心理専攻、及びこども保育・教育専攻、モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科に在籍していた卒業間近の4年生の合計372名が回答した(回答率95.1%)。

在学中に取得した（取得見込み）資格

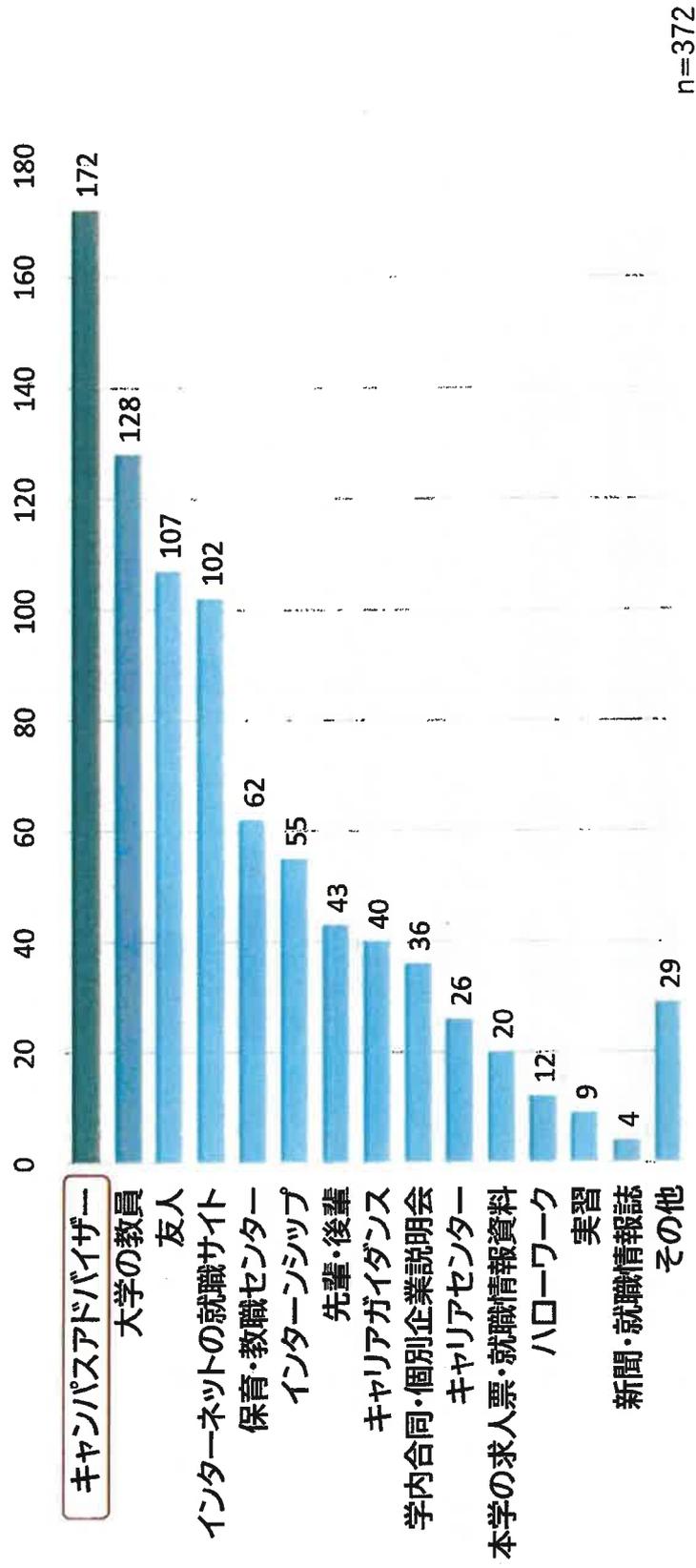


問) 本学在学中に取得した資格・免許・検定あるいは取得見込みの資格・免許・検定（複数回答可）。

- 最も多いのは「幼稚園教諭」、次いで「保育士」「認定心理士」「認定ベビーシッター」と続く。

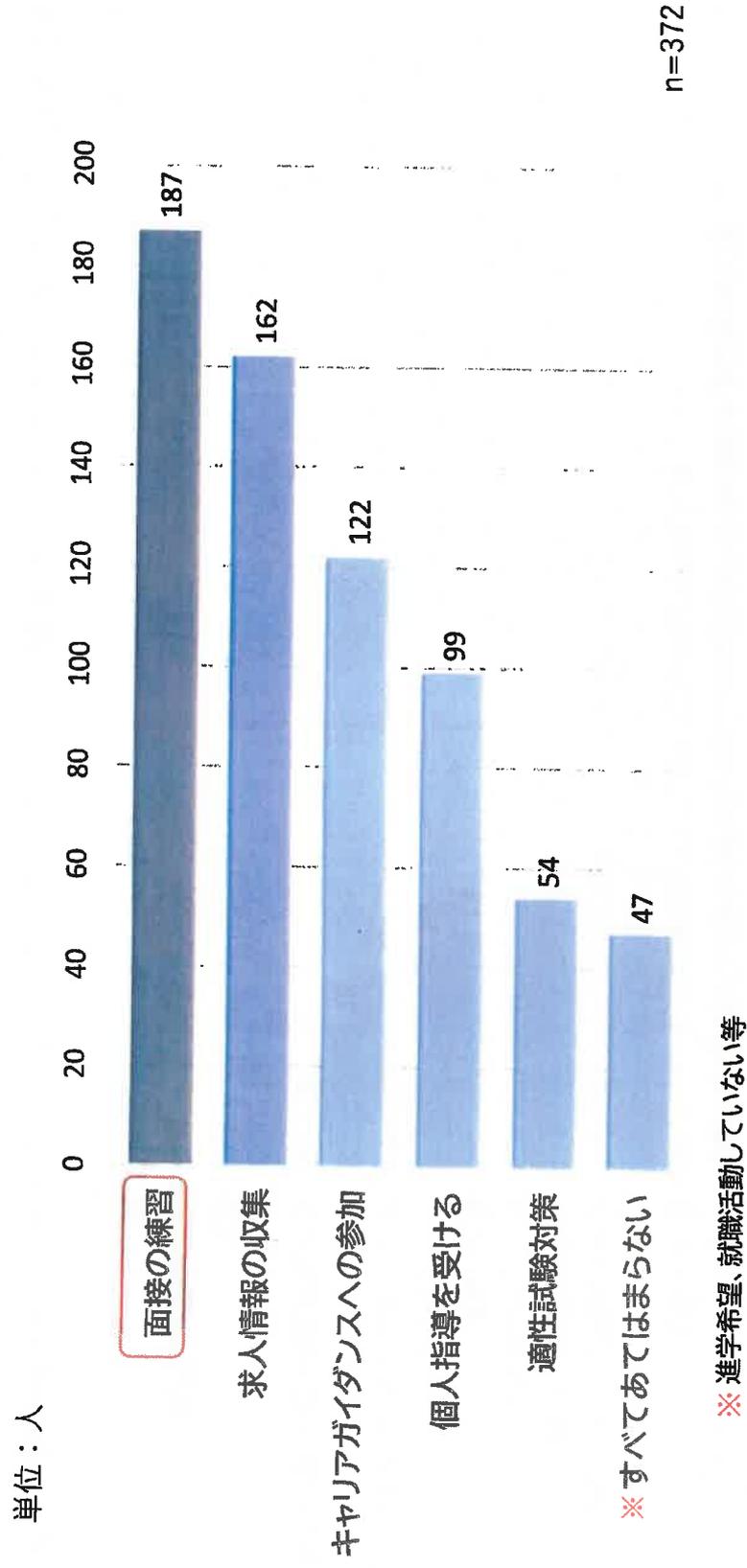
進路選択や卒業後の進路に向けて活動するなかで役立ったもの

単位：人



- 問) 進路選択や卒業後の進路（就職・進学等）に向けて活動するなかで役立ったのはどれですか（複数回答可）。
- 最も多いのは「キャンパスアドバイザー制度」、次いで「大学の教員」「友人」「インターネットの就職サイト」と続く。

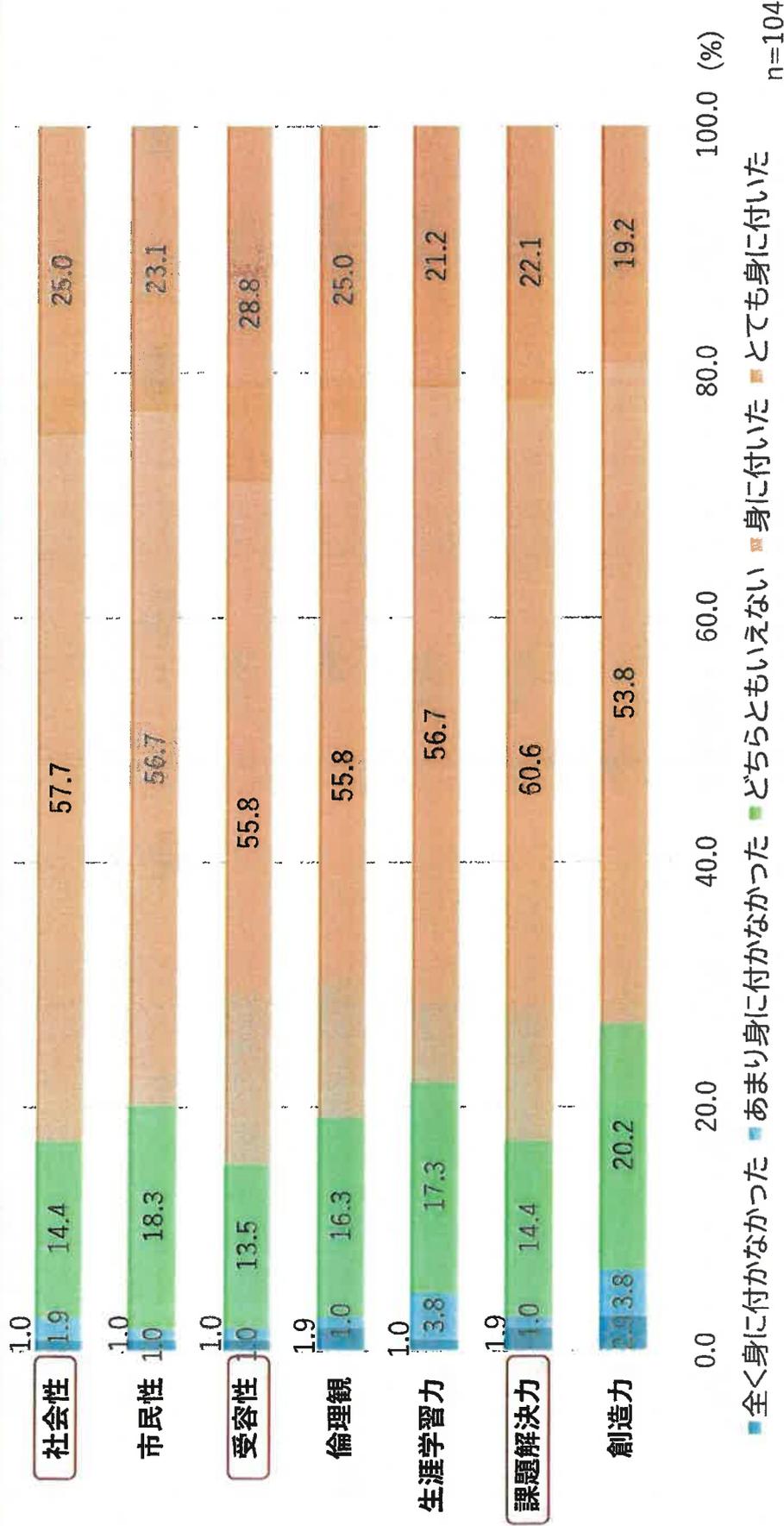
就職活動で重要だと感じたこと



問) 就職活動にあたって重要だと感じたことは何ですか (複数回答可)。

- 最も多いのは「面接の練習」、次いで「求人情報の収集」「キャリアガイダンスへの参加」と続く。

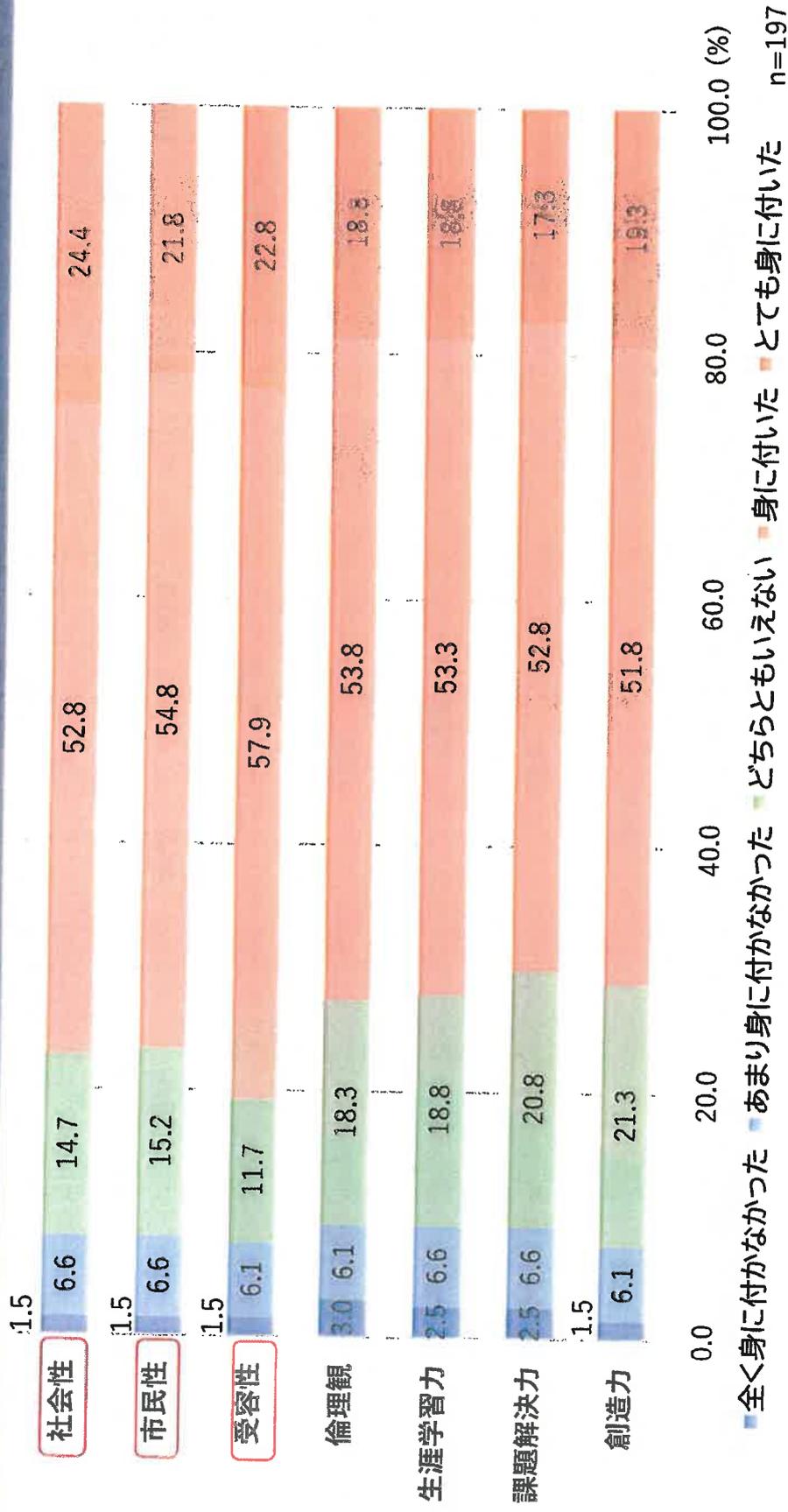
本学で身に付いた力 (心理専攻)



問) 本学に入学して、以下の力がどのくらい身に付いたと思いますか。

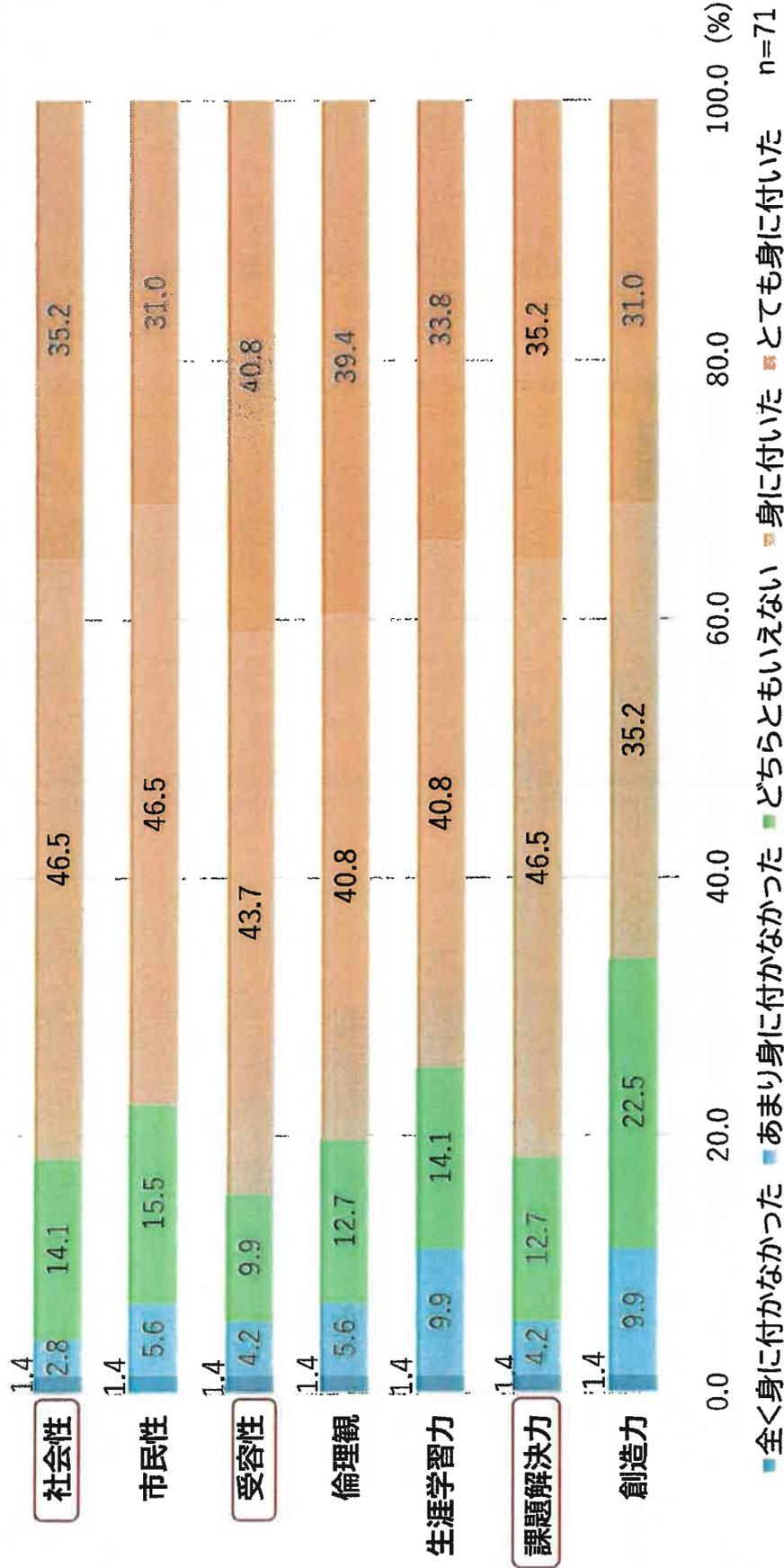
- 「受容性」「社会性」「課題解決力」をはじめとして、どの項目に関しても身に付いたと感じられていることが窺える（「とても身に付いた」「身に付いた」の合計）。

本学で身についた力（こども保育・教育専攻）



- 問) 本学に入学して、以下の力がどのくらい身に付いたと思いますか。
- 「受容性」「市民性」「受容性」をはじめとして、どの項目に関しても身に付いたと感じられていることが窺える（「とても身に付いた」「身に付いた」の合計）。

本学で身に付いた力 (モチベーション行動科学部)

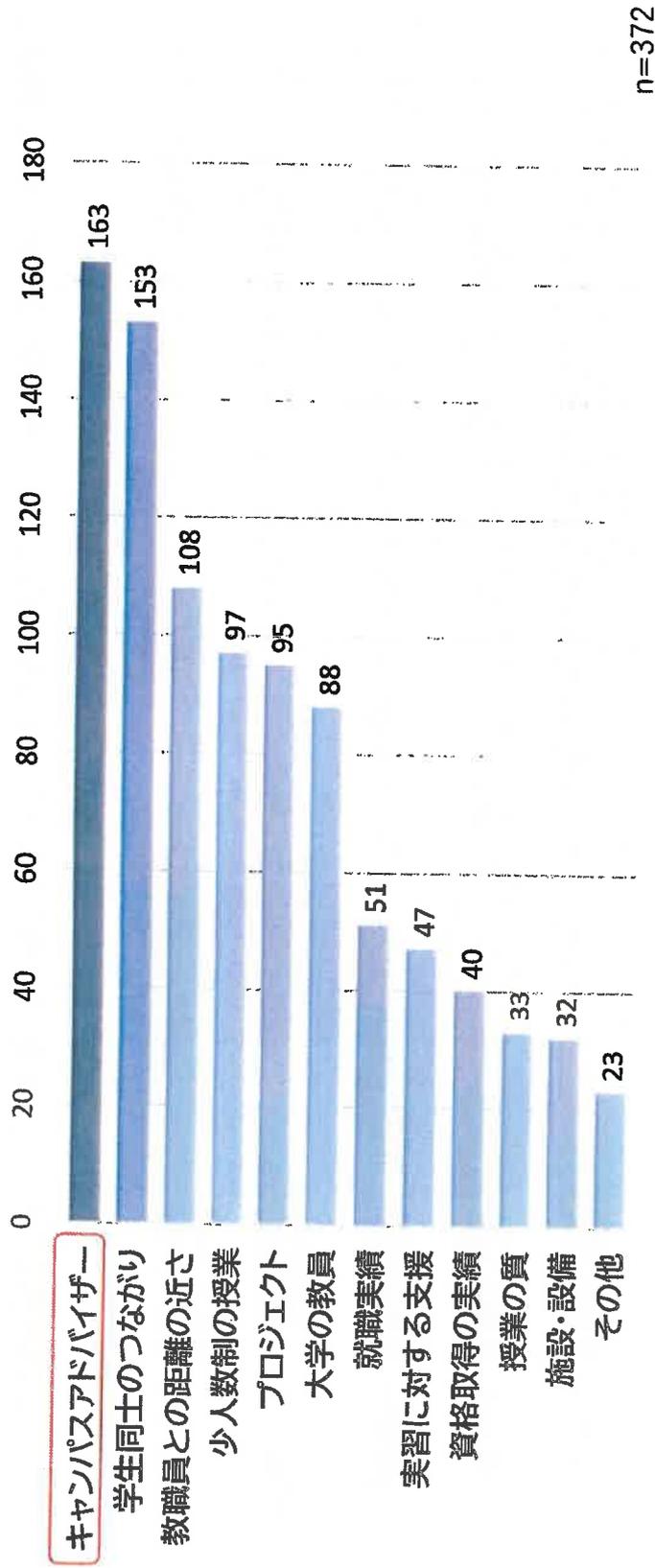


問) 本学に入学して、以下の力がどのくらい身に付いたと思いますか。

- 「受容性」「課題解決力」「社会性」をはじめとして、どの項目に関しても身に付いたと感じられていることが窺える(「とても身に付いた」「身に付いた」の合計)。

本学の卒業生になるにあたり誇れること

単位：人



問) 本学の卒業生として誇れることは何ですか (複数回答可)。

- 最も多いのは「キャンパスアドバイザー制度」、次いで「学生同士のつながり」「教職員との距離の近さ」と続く。

入学前教育 ゼミナール参加率

【No.19】

(単位:人、%)

	令和4(2022)年度入学			令和5(2023)年度入学			令和6(2024)年度入学		
	入学予定者数	参加者数	参加率	入学予定者数	参加者数	参加率	入学予定者数	参加者数	参加率
心理専攻	114	90	78.9%	120	105	87.5%	118	104	88.1%
こども保育・教育専攻	171	149	87.1%	197	179	90.9%	195	177	90.8%
モチベーション行動科学部	65	53	81.5%	92	60	65.2%	72	67	93.1%
合計	350	292	83.4%	409	344	84.1%	385	348	90.4%

※入学予定者数は2024年2月16日時点

ラインズドリル提出率

(単位:人、%)

	令和4(2022)年度入学			令和5(2023)年度入学			令和6(2024)年度入学		
	入学予定者数	提出者	提出率	入学予定者数	提出者	提出率	入学予定者数	提出者	提出率
心理専攻	126	106	84.1%	126	116	92.1%	138	123	89%
こども保育・教育専攻	177	168	94.9%	198	191	96.5%	201	190	95%
モチベーション行動科学部	70	62	88.6%	74	73	98.6%	80	77	96%
合計	373	336	90.1%	398	380	95.5%	419	390	93%

